

NEC プロジェクター

ViewLight® NP-P728QLJD/NP-P608QLJD

取扱説明書

本機を安全にお使いいただくために

ご使用の前に必ずお読みください

もくじ

はじめに	
安全にお使いいただくために	
本書の表記について	
1. 製品概要、添付品、名称を確認する	23
1-1. 特長	
1-2. 添付品の確認	
1-3. 本体各部の名称	
1-4. リモコン各部の名称	
2. 映像を投写する(基本操作)	38
2-1. 映像を投写する流れ	
2-2. コンピューターと接続する/電源コードを接続する	
2-3. 本機の電源を入れる	
2-4. 入力信号を選択する	
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	
2-6. 本機の音量を調整する	
2-7. 本機の電源を切る	
2-8. 移動するときは	
3. 便利な機能	
3-1. 投写光を消灯する(シャッター)	
3-2. オンスクリーン表示を消去する(オンスクリーンミュート)	
3-3. 映像の一部を拡大する(部分拡大)	
3-4. 輝度(明るさ)を調整する	
3-5. 台形歪みを調整する(台形補正)	
$A + \frac{1}{2} + $	
	00
4-1. オンスクリーンメニューの基本保作	
4-2. オノスクリーノメ_ユーー見	63
4-3.	70
4-4. テイ人フレイ	
4-0. 週后	
4-b. ン人丁ム 4-7	
4-7.1 信報	
4-8. 言韻	

5. 機器と接続する	
5-1. コンピューターや映像機器と接続する	
5-2. 有線 LAN と接続する	
5-3. HDBaseT 対応の伝送機器(市販)と接続する	
6. ネットワークに接続する	
6-1. ネットワークに接続してできること	
6-2. 本機の HTTP サーバーに接続する	
6-3. スケジュール機能を使う	
7. 本体のお手入れ	··· 112
7-1. レンズの清掃	
7-2. キャビネットの清掃	
8. 付 録	· · 11 4
8-1. 投写距離とスクリーンサイズ	
8-2. 対応解像度一覧	
8-3. 仕様	
8-4. 外観図	
8-5. インジケーター表示一覧	
8-6. 故障かな?と思ったら	
8-7. トラブルチェックシート	
保証と修理サービス(必ずお読みください)	
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターのご案内	

はじめに

このたびは、NEC プロジェクター(以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます) をお買いあげいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピューターやブルーレイプレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書(本書)をよ くお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一 ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け 取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

●本書で説明している機種名 NP-P728QLJD NP-P608QLJD

[注意]

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4)本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3) 項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

© Sharp NEC Display Solutions, Ltd. 2024 2024 年 8 月 初版 シャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の許可なく複製・改変などはでき ません。

安全にお使いいただくために

レーザー光線について

クラス1レーザー製品



- 本製品は、レーザー製品の安全基準 JIS C 6802:2018、および IEC 60825-1:2014 においてクラス1に分類されています。
- 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。

【内蔵しているレーザーの概要】

- ・波長: 455 nm
- ·最大出力:216 W

リスクグループについて



● 本製品は、IEC 62471-5:2015 規格でリスクグループ2(RG2)に分類されています。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

電波障害に関する注意事項

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害 を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう 要求されることがあります。 VCCI-A

警告:本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

プロジェクターに接続する信号ケーブルは、フェライトコア付きやシールドタイプを使用してください。

それ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。 詳しくは、本書の「5. 機器と接続する」をご覧ください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや 他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていま す。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

▲警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大 けがをするなど人身事故の原因となります。
▲注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをし たり周囲の財産に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

▲記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
◇記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
 ●記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。



魚警告	
電源につ	
④ あままでのです。	プロジェクターは日本国内専用です ● このプロジェクターと添付の電源コードは国内使用専用です。
り 必ず行う	 正しい電源電圧で使用する ● このプロジェクターは、交流 100 ボルト, 50/60Hz の電源で使用するように設計されています。プロジェクターを使用する前に、プロジェクターを接続する電源が要求を満たすものかを確認してください。 ● プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。危険ですので直接電灯線に接続しないでください。
アー ス線を 接続せよ	 アース端子を接続する 本機は電源コードのアース端子をアースに接続することを前提に設計されている3芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。 2芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。詳細は 39ページをご覧ください。 プロジェクターとコンピューター(信号源)は必ず同じアースに接続してください。 プロジェクターとコンピューター(信号源)を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。 アース工事は専門業者にご依頼ください。

\bigcirc	 電源コードの取り扱い ● このプロジェクターに添付している電源コードは、このプロジェク ター専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。 	
禁止	 電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・ 感電の原因となります。 添付されているもの以外の電源コードは使用しない コードの上に重い物をのせない コードをプロジェクターの下敷きにしない コードの上を敷物などで覆わない コードを傷つけない、加工しない コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない コードを加熱しない 雪酒コードが傷んだら(芯線の露出・断線など)販売店に交換をご依 	
めれた手で さわらない	 ■「からのとう(いふのの盗山・「かんなこ)」 放けににく文字をとれ 頼ください。 ● 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因と なります。 ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因とな ります。 	
設置につ	いて	
禁止	 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所 風通しや換気の悪い所 直射日光のあたる所や熱器具のそば 振動の多い所 湿気、ほこり、油煙、湯気の当たる所 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する所 屋外 温度、湿度が急激に変化し結露ができやすい所 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。 そのまま使用すると故障の原因となることがあります。 	

▲警告	
水ぬれ禁止 すうびを抜く	 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。 またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。 火災・感電の原因となります。 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない 風呂やシャワー室で使用しない エアコン等水を排出する機器の近くで使用しない プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない 万ープロジェクターの内部に水などが入った場合は、まずプロジェク ターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェ クター・カスタマサポートセンターに連絡してください。
注意	 天吊り設置 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店に相談してください。 お客様による設置は絶対にやめてください。落下してけがの原因となります。 プロジェクターの天吊りは、プロジェクターを吊り下げるために十分な強度を必要とし、さらに国の建築基準法に従わなくてはなりません。 また、プロジェクター本体や天井用取付けユニットおよび取り付け場所に不具合が発生した場合を想定して、落下防止の対応が必要です。 設置や取り扱いが適切でない、誤使用、改造、天災などに起因する事故、損害については、当社は一切責任を負いません。 天吊りなどの設置をしたときは、プロジェクターにぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。 天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントを使用してください。

▲警告	
使用につ	いて
	 内部に物を入れない プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭では注意してください。 万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに連絡してください。
ブラグを抜く	 や同じたときは電源プラグを抜く プロジェクターから煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合や、プロジェクターを落としたりキャビネットを破損した場合は、プロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけではなく、視力障害ややけどの原因になります。NECプロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。 お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
分解禁止	 プロジェクターの分解禁止 プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。 また改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電およびレーザー光がもれることによる視力障害ややけどの原因となります。 内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ依頼してください。
禁止	 プロジェクターの動作中にレンズの前に物を置かない 動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャップが高温になり変形します。 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。 上記を警告するために、プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

▲警告	
茶止	プロジェクターの清掃時 ● レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのス プレーを使用しないでください。火災の原因となります。
秋	極めて高い信頼性を必要とする業務に使用しない ● 生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空 機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用で きません。
禁止	 本機はコイン形リチウム電池を内蔵しています お客様によるこの電池の交換はできませんので、絶対に外さないでください。 本機はお子様の手の届かない場所に保管してください。 万一電池を取り外してお子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡し、指示を受けてください。 電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合は死に至ることがあります。 電池を飲み込んだ場合は直ちに取り出す必要があります。

<u>▲</u> 注意	
電源コー	ドについて
必ず行う	 電源コードの取り扱い ● 電源プラグを抜き差ししやすい場所のコンセントを使用してください。 ● プロジェクターの AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクターを奥までしっかり差し込んでください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。
し 必ず行う で ブラグを抜く	 火災や感電を防ぐために、次のことを守る ● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 ● お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みが ゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて販売店にご 相談ください。
() 必ず行う	電源プラグのほこりなどは定期的に取る ● 火災・感電の原因となることがあります。
必ず行う	 電源コードやケーブル類を抜いてから移動する コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
秋	電源コードは、タコ足配線しない ● タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。

⚠注意	
使用につ	いて
会	 過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない プロジェクターのLANポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。 LANポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。
() 必ず行う	 レンズシフト、フォーカス、ズームの操作 レンズシフト、フォーカス、ズームの調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。 レンズシフト動作中は、レンズの周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズの隙間に指を挟むおそれがあります。
() 必ず行う	 乾電池は適切に取り扱う 乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破裂によるけがの原因となる ことがあります。 指定以外の電池を使用しない。 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる。 種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。 乾電池は種類によって特性が異なります。 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。 新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれ があります。 乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す。 液がもれて故障の原因となるおそれがあります。 もれた液が目に入ったときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流 してください。 もれた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれい な水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。 長時間使わないときは、乾電池を取り出す。 高温になる場所や気圧の低い場所に放置しない。 破裂したり乾電池から可燃性の液やガスがもれる可能性があります。 乾電池を水の中に投入したり、器具で押しつぶしたり、焼却、加熱、 切断、改造しない。 破裂のおそれがあります。 乾電池をショートや充電をしない。

⚠注意	
	 乾電池を廃棄する際は、プラス(+)とマイナス(-)をセロハンテー プで絶縁して廃棄する。 廃棄する際は販売店、または自治体に問い合わせてください。
(禁止) 高温注意	 通風口について プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。 プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間(目安として1m以上)あけてください。 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。 排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。
※ 止	 プロジェクターの持ち運び プロジェクターを持ち運ぶとき、レンズフードを持たないでください。 レンズフードがプロジェクター本体から外れ、プロジェクターが落下 してけがの原因となることがあります。 プロジェクターを持ち運ぶとき、接続端子部のくぼみを持たないでく ださい。キャビネットが破損してプロジェクターが落下してけがの原 因となることがあります。
○ 禁止	本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下がらない 硬いものでこすったり、たたいたりしない ● 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。

⚠注意				
必ず行う	 温度や湿度が急激に変化する環境での使用、保存を避ける 以下の使用環境・保存環境で本機をご使用、保存ください。 守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。 動作温度: 0 ~ 45℃ 動作湿度: 10 ~ 85% (ただし、結露しないこと) 保存温度: - 10 ~ 60℃ 保存湿度: 20 ~ 90% (ただし、結露しないこと) 			
必ず行う	 3D 映像を視聴する際の健康に関するご注意 健康に関する注意事項は、3D 映像のソフト(ブルーレイ、ゲーム、コンピューターの動画ファイルなど)および 3D メガネに添付されている取扱説明書に記載されている場合がありますので、必ず視聴する前にご確認ください。 健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。 健康への悪影響を避けるため、次の点に注意してください。 3D 映像を視聴する以外の目的で、3D メガネを使用しないでください。 スクリーンから 2m 以上離れて視聴してください。スクリーンに近い距離で視聴すると目への負担が増加します。 長時間連続して視聴しないでください。1 時間視聴したら、15 分以上休憩を取ってください。 本人または家族の中で光感受性発作を起こしたことがあるかたは、視聴する前に医師に相談してください。 視聴中に身体に異常(吐き気、めまい、むかつき、頭痛、目の痛み、視界のぼけ、手足のけいれん、しびれなど)を感じたときは、すぐに視聴を中止し安静にしてください。しばらくしても異常が治らない場合は医師に相談してください。3D 映像を斜めから視聴すると、疲労や眼精疲労を起こす原因となることがあります。 			
点検と清	掃について			
し 必ず行う	プロジェクターの点検・本体内部の清掃 ● 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサ ポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりが たまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることが あります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。 なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタ マサポートセンターにご相談ください。			

プロジェクターの性能確保のための注意事項

- レーザー光線のような強い光がレンズから入り込むと、故障の原因となります。
- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
 - たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して(12時間/ 日または260日/年を超えて)使用する場合は、あらかじめNECプロジェクター・ カスタマサポートセンターにご相談ください。
- ●本機は気圧センサーを内蔵しており、設置する場所の標高に応じて自動的に「高地モード」が「オン」に切り替わります。高地モードがオンに切り替わると、冷却ファンが高速で回転します。

なお、標高が 1500 m を超えても高地モードがオンに切り替わらない場合は、手動で オンスクリーンメニューの「システム」→「高地モード」を「オン」に切り替えてくだ さい。

- プロジェクターを高所(気圧の低い所)で使用すると、光学部品(光源など)の交換時 期が早まる場合があります。
- プロジェクターの持ち運びについて
 プロジェクターに振動や強い衝撃を与えないでください。プロジェクターの故障の原因となります。
- チルトフットはプロジェクターの傾き調整以外の用途には使用しないでください。 チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをする と、故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
 投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、投写レンズ面には手を触れないでください。
- 投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断しないでください。故障の原因となる ことがあります。
 電源コードを抜いたり AC 電源を切断したりする場合は、電源ボタンを押して、スタン バイ状態になる(電源インジケーターがオレンジ色で点灯する)まで待ってください。
- リモコンの取り扱いについて
 - リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
 - リモコンとリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
 - 乾電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい乾電 池に交換してください。
 - 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
 - 誤動作防止のために、エアコンやステレオコンポなど他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。
 - 他の機器のリモコンによる影響が懸念される場合は、リモコンの識別ID(コントロールID)を設定するなどして誤動作を防止してください。
 - •本体から約6m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
 - リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
 - リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。

- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を2本とも取り出してください。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
 スクリーンには、照明などプロジェクター以外からの光が入らないようにしてください。
 外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
 ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
 スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

設置する際の周囲との距離についての注意

プロジェクターを設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。プロ ジェクターから出た高温の排気が再びプロジェクターに吸気される場合があります。 下の図は、プロジェクターを2台並べたときの例です。

また、エアコンから吹き出された風がプロジェクターに当たらないようにしてください。 プロジェクターの温度制御で異常(温度エラー)を感知して自動的に電源が切れることが あります。



[注意]

● 上の図において、プロジェクターの上方には十分な空間があるものとします。
 また、プロジェクターの底面にも吸気口がありますので、吸気口を塞がないように注意してください。

プロジェクターを天吊り設置する際は、 プロジェクターの底面にある吸気口と天 吊り金具のプレートの間隔を15 mm 以 上離してください。



設置や保管についての注意事項

●次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。

- 振動や衝撃が加わる場所 動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、プロジェ クターに振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
- 高圧電線や動力源の近く 妨害を受ける場合があります。
- 強い磁界が発生する場所 故障の原因となります。
- ・屋外および湿気やほこりの多い場所 油煙や湯気の当たるような場所 腐食性のガスが発生する場所 キャビネットに油や薬品、水分などが付着した場合、キャビネットの変形またはひび 割れ、金属部分の腐食、および故障の原因となります。

● 設置業者様へ

本機を設置する際は、以下の事項にご注意ください。

- ② 設置は、天井取付けユニットの取扱説明書に従って、正しく確実に作業してください。 所定のネジや固定金具はすべて確実に取り付けてください。
- ③落下防止のために落下防止ワイヤーを使用してください。
 - 市販の金具などを用いて建物や構造物の丈夫な箇所とプロジェクターのセキュリティ バーを落下防止ワイヤーで接続してください。
 - 市販の金具や落下防止ワイヤーはプロジェクターおよび天井取付けユニットの荷重に 耐えられるように十分強度のある物をご使用ください。
 - 落下防止ワイヤーはプロジェクターに負荷をかけないように、少したるませるように 設置してください。
 - セキュリティバーの位置については、27 ページをご覧ください。

廃棄について

- 本機はコイン形リチウム電池を内蔵しています。
 本機を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。
- 地球環境保全と資源の有効活用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

「製品リサイクルのご案内」について

https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/recycle/index.html

個人情報の初期化について

本機には、IP アドレス等、個人情報が記録されている可能性があります。廃棄・譲渡する 際には、オンスクリーンメニューの「すべてのリセット」を実行して、設定の初期化をし てください。

投写する映像の著作権について

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、プロジェクターを使って映像を投写 する場合、プロジェクターの機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくし たり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあ ります。

アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

本機のパワーマネージメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネージメント機能(1)、(2) を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを経由して外部機器から制御す る場合は、オンスクリーンメニューを表示して(1)、(2)の設定を変更してください。

- (1) スタンバイモード(初期設定:ノーマルスタンバイ)
 外部機器から制御する場合は「ネットワークスタンバイ」または「スリープ」に変更してください。(→ 84 ページ)
- (2) オートパワーオフ(初期設定:20分)
 外部機器から制御する場合は「0分(オフ)」に設定してください。(→ 84 ページ)

有線 LAN に関するご注意

本機の HDBaseT ポートおよび LAN ポートは公衆回線(電気通信事業者から貸与または レンタルされたルーターを含む)に直接接続することを意図して設計されていません。 そのため HDBaseT ポートおよび LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信 事業法で禁止されています。

商標について

- ViewLight、ビューライトは、シャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の 登録商標です。
- DLP[®]、DLP[®]ロゴ、DLP[®] Link[™]は、Texas Instruments の登録商標または商標です。
- Apple、Mac、MacBookは、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその 他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレ スおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標 です。



• HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。

- PJLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- CRESTRON、Crestron Fusion[®] は Crestron Electronics, Inc. の米国その他の国におけ る登録商標または商標です。
- AMX は米国 AMX LLC の登録商標または商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、当社のホームページをご参照ください。

https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/pj/manual/lineup.html

本書の表記について

マークの意味

[重要]	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意してい ただきたいことを表しています。
[注意]	注意や制限事項を表しています。
[参考]	補足説明や役立つ情報を表しています。
適応機種	機種によって異なることを表しています。
→ 00 ページ	本書内の参照ページを表しています。

操作ボタンの表記例





[参考]

● 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 製品概要、添付品、名称を確認する

1-1. 特長

■ 全般

● DLP[®] 方式の高輝度・高解像度プロジェクター

機種名	明るさ	表示解像度	アスペクト比
NP-P728QLJD	7200 lm		16.0
NP-P608QLJD	6000 lm	4K UHD (3840 × 2160 × 9 ×)	10:9

■ 光源・輝度

● 長寿命レーザー光源を採用

レーザー光源は長寿命のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。

● 幅広い輝度調整が可能

ランプとは異なり、出力を 10% から 100% まで 1% 刻みで調整することができます。

■ 設置

● 360°の設置、ポートレート投写が可能

本機は、垂直方向と水平方向360°の、どの角度でも設置が可能です。 本機を傾けて設置する場合は、十分な強度のある金具を使用してください。 また、投写画面を90°傾けたポートレート投写ができます。必ず専用のスタンドを制作 して設置してください。



● 電動フォーカス、電動ズーム、および電動レンズシフトを装備

リモコンまたはプロジェクター本体の操作ボタンを押すことにより、フォーカス、ズーム、およびレンズシフトの調整ができます。

●豊富な台形補正機能

本機は、豊富な台形補正機能(水平 / 垂直台形補正、4 点補正、ワーピング(湾曲補正)) を搭載しており、平面ではないスクリーンに投写することができます。

● 10 ワット×2 のスピーカー内蔵

会議室や教室で視聴していただけるように、10 ワット×2 のスピーカーを内蔵しています。

■ 映像

● HDMI 入力端子を2系統、および HDBaseT 端子 HDMI 入力端子を2系統、および HDBaseT 端子を装備しています。 すべての端子で4K、60Hz までの映像を投写できます。 またすべての端子で HDCP に対応しています。

■ ネットワーク

有線 LAN 対応

LAN ポート(RJ-45)を装備しており有線 LAN に接続してコンピューターから本機を 制御できます。

当社のアプリケーションソフト NaViSet Administrator 2 に対応しており、プロジェクターの状態をモニタリングしたり、様々な機能を制御することができます。

● スケジュール機能

本機の HTTP サーバー画面にアクセスすると、本機の動作について 1 週間(7日間) のスケジュールを設定することができます。設定できるイベントは、電源のオン/オフ、 入力端子切り替え、ライトモード、AV ミュートのオン/オフなどです。

● Crestron Fusion[®] に対応

本機は Crestron Fusion[®] に対応しています。コンピューターやコントローラーから、 ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

■ 省エネ

● スタンバイ時の消費電力が 0.5 ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューの「スタンバイモード」を「ノーマルスタンバイ」に設定(本 機の初期設定)すると、スタンバイ時の消費電力が 0.5 ワットになります。

● 動作中の消費電力を抑えるエコモード

オンスクリーンメニューの「光源設定」→「ライトモード」を「エコ」に設定すると、 光源の輝度を下げて消費電力を抑えることができます。

● 設定した時間内に信号入力や操作がない場合に、自動的に光源をオフ

オンスクリーンメニューの「電源設定」→「オートパワーオフ」の時間を設定すると、 設定した時間内に信号入力や操作がない場合に、自動的に電源をオフして消費電力を抑 えることができます。本機の工場出荷時は、20分に設定されています。

1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。



プロジェクター(本機) 注:本機にレンズキャップは添付していません。



電源コード(3芯タイプ)



リモコン



単4形マンガン乾電池 (リモコン用)2本



重要なお知らせ

クイックスタートガイド

保証書

[参考]

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買いあげの販売店にご連絡 ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はあり ません。

1-3. 本体各部の名称

本体前部



ここから映像が投写されます。

- 2 インジケーター
 - インジケーターは、本機の動作状態を知らせます。(→ 29 ページ, 124 ページ)
- 3 排気口

内部の熱を排気します。

4 吸気口

外気を取り込み本体内部を冷却します。

5 リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。本体の前面と上面の2箇所にあります。(→ 36 ページ)

6 チルトフット(前後に4箇所)

チルトフットを回して前後左右の傾きを調整します。(→ 50 ページ)

本体後部



1 接続端子部

HDMI ケーブルや LAN ケーブルなどを接続します。(→ 30 ページ)

2本体操作部

本機の電源の入/切や、オンスクリーンメニューの操作などができます。(→次ページ)

3 AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。(→ 39ページ)

4 主電源スイッチ

「】」側を押すと AC 電源が供給されスタンバイ状態になり、「○」側を押すと AC 電源を切断します。(→ 41 ページ、52 ページ)

5 スピーカー

HDMI1/2 入力端子から入力された音声を出します。(→ 51 ページ)

6 排気口

内部の熱を排気します。

7 吸気口

外気を取り込み本体内部を冷却します。

8 セキュリティスロット (🔂)

盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。 詳しくは下の[参考]をご覧ください。

9 セキュリティバー

本機のセキュリティバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。 セキュリティケーブル(またはワイヤー)を取り付けます。

[参考]

● セキュリティスロットについて(【】)

セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応してい ます。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

本体操作部



1(①)ボタン(電源ボタン)

本機の電源を入/切(スタンバイ状態)します。 電源を切る(スタンバイ状態)ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示される ので、続いてもう一度 (回) ボタンを押します。

2 MENU(メニュー)ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。 (→ 60 ページ)

3▼▲◀▶ボタン(レンズシフト、フォーカス、ズーム、入力切替 ボタン)

- オンスクリーンメニューを表示しているときに▼▲◀▶ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。
- オンスクリーンメニューを表示していないときに、▲(LENS SHIFT)ボタンを押す と、レンズシフトを調整できます。(→ 46 ページ)
- オンスクリーンメニューを表示していないときに、▶(FOCUS)ボタンを押すと、フォーカスを調整できます。(→ 48 ページ)
- オンスクリーンメニューを表示していないときに、
 (ZOOM)ボタンを押すと、ズームを調整できます。(→49ページ)
- オンスクリーンメニューを表示していないときに、▼(INPUT)ボタンを押すと、入 力切替メニューを表示します。(→ 44 ページ)

4 ENTER (決定) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進み、選択項目を決定します。 確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

5 EXIT (戻る) ボタン

オンスクリーンメニューのメインメニューアイコンにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。サブメニューにカーソルがあるときは、メインメニューアイコンに戻ります。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。



1 POWER (電源) インジケーター 本機の電源の状態を表すインジケーターです。 電源が入っているときは緑色に点灯します。

スタンバイ時は、オレンジ色で点灯します。

2 STATUS(ステータス)インジケーター

AV ミュート時に赤色で点滅します。

3 TEMP. (温度) インジケーター 本体内部の温度異常などを検知したときに点灯または点滅します。

【参考】 ● 詳しくは「インジケーター表示一覧」をご覧ください。(→ 124 ページ)

1. 製品概要、添付品、名称を確認する



1 HDMI 1 入力端子(タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

2 HDMI 2 入力端子(タイプ A)

ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

3 音声出力端子(ステレオ・ミニ)

本機から投写されている映像の音声入力端子の音声信号を出力します。

• 本機の音声出力端子は、ヘッドホン用端子ではありません。

[参考]

- 本機が電源オン状態以外のとき、音声出力端子から音声信号は出力されません。
- オンスクリーンメニューの「システム」→「オーディオ設定」→「オーディオ出力」で、 内蔵スピーカーから音声を出力するか、音声出力端子から音声を出力するかを選択 できます。(→ 90 ページ)

4 HDBaseT ポート (RJ-45)

本機を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。

5 LAN ポート (RJ-45)

本機を有線 LAN に接続します。

- 本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザーを使用して 本機を制御することができます。(→ 98 ページ)
- その他の制御機器を使って、本機を制御できます。

6 RS 232 端子(D-Sub 9 ピン)

コンピューターから本機を操作するときに使用します。 市販のリバースタイプ(クロスタイプ)の RS-232C ケーブルを接続してください。

7 USB ポート (タイプA)

本機の電源が「入」状態のとき、5.0 V / 1.5 A の電源を供給します。

8 サービスマン専用端子 (タイプ B)

お客様は使用できません。

9 REMOTE IN 端子(ステレオ・ミニ)

市販のΦ 3.5 ステレオミニプラグ付きケーブル(抵抗無し)を使って本機のリモコンと 接続すると、有線でのリモコン操作が行えます。

リモコンの赤外線送信ができない場合に使用します。(→ 37 ページ)

[注意]

- REMOTE IN 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- REMOTE IN 端子からリモコンへ電源は供給されません。
- リモコン受光部設定で HDBaseT を選択しており、かつ市販の HDBaseT 対応の伝 送機器との接続時、伝送機器側でリモコン信号の伝送を設定している場合は赤外線 でのリモコン操作ができません。ただし、伝送機器の電源を切っているときは赤外 線でのリモコン操作が可能です。)

1012 VOUT 端子(ステレオ・ミニ)

本機の電源を入れると、スクリーンの制御電圧が出力されます。 本機の電源の入/切に応じて、スクリーンの上げ下げなどの制御を行う場合に、スクリー ンコントローラーなどの機器に接続します。制御電圧の使用についてはオンスクリーン メニューの「12V トリガー」をご覧ください。(→ 89 ページ)

[重要]

● 誤って 12V OUT 端子にリモコンケーブルを接続すると、リモコンが故障します。

【参考】 12 V OUT 端子に接続する音声ケーブルの仕様 チップ (12V) リング (0V)

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2リモコンケーブル接続端子

リモコンを有線で使用するときに、市販のΦ 3.5 ステレオミニプラグ付きケーブル(抵抗なし)を 接続します。

3 POWER ON ボタン(|)

スタンバイ状態のときに、本機の電源を入れます。

4 POWER STANDBY ボタン(也)

ー度押すと電源オフ確認メッセージを表示しま す。もう一度 POWER STANDBY()がタン を押すと、本機の電源が切れます。

5 USER1/2/3 ボタン

機能を9種類から選択して設定できます。

6 MENU ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示 します。

7 EXIT ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメ ニューに戻ります。メインメニューにカーソ ルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッ セージ表示中は、操作を取り消します。

8 ▼▲ ◀ ▶ ボタン

オンスクリーンメニュー操作やD-ZOOM ボタン、SHIFT ボタンなどと組み合わせて使用します。

9 ENTER ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメ ニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。



フォーカス調整画面を表示します。▲/▼ボタン でレンズのフォーカスを調整します。

11 SHIFT ボタン

レンズシフト調整画面を表示します。▼▲◀▶ボ タンでレンズ位置を調整します。

12 ZOOM ボタン

ズーム調整画面を表示します。▲/▼ボタンでレ ンズのズームを調整します。

13 VOL/D-ZOOM + / ーボタン

音声出力端子の音量を調整します。 CTL ボタンと同時に押すと、画面の拡大・縮小(も とに戻す)をします。

14 DEFAULT ボタン

(本機では使用しません)

15 SHUTTER / OSD OPEN (□) / CLOSE (図) ボタン

CLOSE ボタンを押すと、光源が消灯して投写光 が一時的に消えます。OPEN ボタンを押すと戻 ります。

CTL ボタンと同時に CLOSE ボタンを押すと、 オンスクリーン表示を消します(オンスクリー ンミュート)。CTL ボタンと同時に OPEN ボタ ンを押すと戻ります。

16 LIGHT ボタン

ライトモード画面を表示します。





17 Geometric. ボタン

オンスクリーンメニューの「幾何学補正」を表示 します。投写画面の歪み調整に使います。

18 STATUS ボタン

オンスクリーンメニューの「情報」を表示します。

19 TEST ボタン

テストパターンを表示します。

20 HDMI1 ボタン

HDMI1 入力を選択します。

21 HDMI2 ボタン HDMI2 入力を選択します。

22 HDBaseT ボタン HDBaseT 入力を選択します。

23 DP1 ボタン

(本機では使用しません)

24 DP2 ボタン

(本機では使用しません)

25 SDI ボタン

(本機では使用しません)

26 SLOT ボタン (本機では使用しません)

27 COMP. ボタン

(本機では使用しません)

28 DVI ボタン

(本機では使用しません)

29 AUX ボタン

(本機では使用しません)

30 ID SET ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別 に操作するときのコントロール ID 設定に使用し ます。



31 数字(0~9)入力ボタン 複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別 に操作する場合のID入力に使用します(コ ントロールID設定)。 ID SET ボタンを押したまま0ボタンを押すと、 コントロールID設定を解除します。

32 CTL ボタン

他のボタンと併用するための複合機能ボタンで す。

電池の入れかた

- 1. リモコン裏面の電池ケースのふたを押した まま手前に引き、上に持ち上げて外す。
- 2. ケース内部に表示している+、-の向きに 合わせて単4乾電池をセットする。



ふたのツメ③をケースのミゾ⑤に入れてからふたをしめます。



[注意]

● 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類(アルカリまたはマンガン)の単4乾電池 をお買い求めください。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ 次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

受光範囲



(注)有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

[注意]

● リモコンの使用上の注意事項は、17ページをご覧ください。
リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、受光範囲外でリモコン操作するときは、リモコンケーブルを使用して、本体とリモコンを接続してください。



- リモコンケーブルは、市販のΦ 3.5 ステレオミニプラグ付き(抵抗なし)を使用して ください。
- REMOTE IN 端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- REMOTE IN 端子からリモコンへ電源は供給されません。有線で使用する場合でも、リモコンに乾電池を入れてください。

[重要]

● 誤ってリモコンケーブルを 12V OUT 端子に接続すると、リモコンが故障します。

2. 映像を投写する(基本操作)

<u>2-1. 映像を投写する流れ</u>

ステップ 1	コンピューターと接続する/電源コードを接続する(→次ページ)
ステップ 2	本機の電源を入れる(→ 41 ページ)
ステップ 3	入力信号を選択する(→ 44 ページ)
ステップ 4	投写画面の位置と大きさを調整する(→ 45 ページ)
ステップ 5	本機の音量を調整する(→ 51 ページ)
ステップ 6	プレゼンテーションをする
ステップ 7	本機の電源を切る(→ 52 ページ)
ステップ 8	移動するときは(→ 53 ページ)

2-2. コンピューターと接続する/電源コードを接続する

1. コンピューターと接続する。

ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。他の接続は「5. 機器と接続する」→ 93 ページをご覧ください。 コンピューター側の HDMI 出力端子と、本機の HDMI 1 入力端子または HDMI 2 入力 端子を、市販の HDMI ケーブルで接続します。

[参考]

● プレミアムハイスピード対応の HDMI ケーブルを使用してください。

2. 電源コードを接続する。

添付の電源コードを使って、コンセントに本機を接続します。

- ① 電源コードのコネクターを本機の AC IN 端子に差し込む。
- ② 電源コードのプラグを AC100V の3 芯コンセント(アース工事済み)に差し込む。

⚠注意	 本機は電源コードのアース端子をアースに接続することを 前提に設計されている3芯プラグ機器です。機器の安全確 保のため、電源コードは、3芯コンセントに直接接続し、 機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを 接続しないと感電するおそれがあります。 2芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。 プロジェクターとコンピューター(信号源)は必ず同じアー スに接続してください。 プロジェクターとコンピューター(信号源)を離れた場所 のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・ 発煙の原因となることがあります。
	 クロクエクターとコンヒューター(信ちぶ)を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。 アース工事は専門業者にご依頼ください。 電源コードを3芯コンセントに接続するときは、コネクターやプラグを奥までしっかり差し込んでください。 電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。





電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがありま す。取り扱いに注意してください。

2-3. 本機の電源を入れる



プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投 写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してくだ さい。

1. 主電源スイッチの「|」(入) 側を押す。

主電源スイッチを「】」(入)側にすると、本機の POWER インジケーターがオレン ジ色で点灯し、本機がスタンバイ状態になります。



2. () ボタンを押す。

POWER インジケーターが緑色に点灯し、 スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、POWER ON())ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、ブルー バックが表示されます(工場出荷時の メニュー設定時)。
- ・映像がぼやけている場合は、画面の フォーカスを合わせてください。(→ 48ページ)
- 「セキュリティ」画面が表示されたときは、セキュリティパスワードが設定されています。(→ 86 ページ)

本体背面の操作ボタン

リモコン



ご購入後、はじめて本機の電源を入れる と、最初に言語選択メニューが表示され ます。	Language English Deutsch Français Italiano Español Svenska 한국어 Polski Magyar Pyccxwiñ Eλληνικά	Türkçe Português عربی Costina 繁體中文 Norsk Norsk Noderlands 曰本語 简体中文 Tne
	BITER) Enter	Select
1. ▼ / ▲ボタンを押して 「日本語」 にカー ソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。	Language English Deutsch Français Italiano Español Svenska 한국어 Polski	Türkçe Português デモン Čeština 繁體中文 Norsk Nederlands 日本語
	Magyar Русский Еλληνικά	简体中文 រ៉ោម
	Enter A	Select

[注意]

● 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損 や火災の原因となります。

さらに、反射した光でプロジェクターのレンズが高温になり、レンズが変形すること があります。

投写中に一時的に画面を消す場合は、リモコンの「SHUTTER CLOSE (☑)」ボタン を押してください。再び画面を表示する場合は、「SHUTTER OPEN (□)」ボタンを 押してください。

- 次のような場合は、(●)ボタンを押しても電源が入りません。
 - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って(内部の温度が下がって)から電源を入れてください。

[参考]

- 本機のメニューやメッセージが「日本語」以外で表示されているときは、以下のように 操作して「日本語」に変更してください。
 以下は、「英語」から「日本語」に変更する場合です。
- リモコンまたは本体操作部で MENU ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。

② ▲ / ▼ ボタンを押して「Language(言語)」
 アイコンを選択し、▶または ENTER ボタンを押す。

言語一覧にカーソルが移動します。



	Language		
囲	● English Deutsch Erancais		Türkçe Português
Î	Italiano		ڪرچي Čeština
₽	Español Svenska		繁體中文 Norsk
(i)	한국어 Polski		Nederlands 日本語
2	Magyar Русский		— · · 简体中文 ไทย
	Ελληνικά		
	ENTER Enter	Select	EXIT Return

③ ▲ / ▼ ボタンを押して「日本語」を選択し、 ENTER ボタンを押す。



2-4. 入力信号を選択する

リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

- 本機に接続しているコンピューターや DVD プレーヤーなどの電源を入れる。
 DVD プレーヤーなどの映像を投写するとき は、再生(PLAY)操作をしてください。
- リモコンの HDMI 1 または HDMI 2 ボ タンを押す。

本体背面の操作ボタンを押して選択する

- 本機に接続しているコンピューターや DVD プレーヤーなどの電源を入れる。
 DVD プレーヤーなどの映像を投写するとき は、再生(PLAY) 操作をしてください。
- 2. 本体背面の ▼ (INPUT) ボタンを押す。 入力切替メニューが表示されます。
- 3. ▼ / ▲ボタンを押して入力端子にカーソ ルを合わせ、ENTER ボタンを押す。







[参考]

- 本機の工場出荷時は、オンスクリーンメニューの「ディスプレイ」→「信号」→「自動信号判別」が「オン」に設定されており、入力された信号を自動的に判別して投写します。(→78ページ)
- 信号が入力されていないときは、ブルーバックが表示されます(工場出荷時のメニュー 設定時)。

DVD プレーヤーなどは再生(PLAY)操作をしてください。

- ノートブックコンピューターの画面がうまく投写できない場合
 ノートブックコンピューターの外部出力(モニター出力)設定を外部に切り替えてください。
 - Windowsのノートブックコンピューターの場合は、[Fn] キーと12個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効/無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F3]	NEC
[Fn] + [F8]	DELL

※詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- Apple MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
- それでも投写しない場合は入力端子を再度選択してください。

2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやフォーカス、ズーム、チルトフットなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。



※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

投写画面の位置の調整(レンズシフト)

 オンスクリーンメニューが表示されて いないとき、プロジェクター本体の
 ▲ (LENS SHIFT) ボタンを押す。

レンズシフト調整画面が表示されます。

 リモコンで操作する場合は、SHIFTボ タンを押します。 本体背面の操作ボタン



リモコン



- 2. ▲▼◀▶ボタンを押して、投写画面の 位置を調整する。
 - レンズシフト画面が表示されているときに ENTER ボタンを押すと、レンズキャリブレーション確認画面が表示されます。(→ 76ページ)



調整が終わったら EXIT ボタンを押す。

[注意]

● レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。

[参考]

●次ページの図はレンズシフト調整範囲を示しています。



記号の意味:

Vは垂直(投写画面の高さ)、Hは水平(投写画面の幅)を表し、レンズシフト範囲を 高さおよび幅の比率で表しています。

投写画面のフォーカス合わせ(フォーカス)

注意 調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前 面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。

1. オンスクリーンメニューが表示されて 本体背面の操作ボタン リモコン いないとき、プロジェクター本体の▶ USER MENU LENS SHIFT (FOCUS) ボタンを押す。 フォーカス調整画面が表示されます。 ENTER リモコンで操作する場合は、FOCUS ボ タンを押します。 ZOOM SHIFT LENS INPLIT X 2. ▲ / ▼ボタンを押して、画面のフォー フォーカス カスを調整する。 3. 調整が終わったら EXIT ボタンを押す。

[参考]

フォーカス調整は、テストパターンを投写した状態で30分以上経過したのちに行うことをおすすめします。

テストパターンの表示については80ページをご覧ください。

投写画面の大きさの調整(ズーム)

調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前 面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。

1. オンスクリーンメニューが表示され ていないとき、プロジェクター本体の◀ (ZOOM) ボタンを押す。

ズーム調整画面が表示されます。

- リモコンで操作する場合は、ZOOMボ タンを押します。
- 2. ▲ / ▼ボタンを押して、画面のズームを調整する。
- 3. 調整が終わったら EXIT ボタンを押す。

本体背面の操作ボタン

LENS SHIFT





ズーム
^
•

投写画面の高低と左右の傾き調整(チルトフット)

1. 前後左右にある4箇所のチルトフットを回して調整する。

チルトフットを回すとチルトフットが伸縮します。 投写画面の高低は左と右のチルトフットを回して高さ調整をします。 投写画面が傾いているときは、どちらかのチルトフットを回して水平に調整します。

- ・ 投写画面が歪んでいるときは「3-5. 台形歪みを調整する(台形補正)」をご覧ください。(→ 57 ページ)
- チルトフットは、最大約 19 mm 伸ばすことができます。
- チルトフットにより、本機を水平方向に最大約2.7°、垂直方向に最大約3.6°傾ける ことができます。



[注意]

- チルトフットの調整中は排気口に触れないでください。プロジェクターがオンになっている、またオフになった後も熱くなっている可能性があります。
- チルトフットは 19 mm 以上伸ばさないでください。19 mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。
 チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

2-6. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

1. リモコンの VOL. + / -ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

+側	音量が大きくなります。			
一側	音量が小さくなります。			



[参考]

● 音量調整バーが表示されているときは、▲▼◀▶ボタンを押しても調整できます。

[注意]

 オンスクリーンメニューが表示されているとき、および部分拡大+ボタンで画面を拡 大しているときは、◀ / ▶ボタンを使った音量調整はできません。

2-7. 本機の電源を切る

- 1. () ボタンを押す。
 - リモコンで操作する場合は、STANDBY (①)ボタンを押します。

本体背面の操作ボタン

リモコン



6 Т 123 USER MENU ENTER

画面に電源オフ確認メッセージが表示され ます。

2. もう一度 () ボタンを押す。

光源が消灯し、電源が切れます。(スタン バイ状態)

- リモコンで操作する場合は、もう一度 STANDBY(心)ボタンを押します。
- スタンバイ状態になると、POWERイン ジケーターがオレンジ色で点灯します。
- 電源を切らない場合は、確認メッセージ が消えるのを待ちます。
- 3. 主電源スイッチの「〇」(切) 側を押す。 POWER インジケーターが消灯します。



電源オフ

電源を切りますか?

電源キーを再び押してください



電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがありま す。取り扱いに注意してください。

[注意]

● 投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断しないでください。故障の原因となる ことがあります。

電源コードを抜いたり AC 電源を切断したりする場合は、電源ボタンを押して、スタン バイ状態になる(POWER インジケーターがオレンジ色で点灯する)まで待ってくだ さい。

2-8. 移動するときは

- 1. 電源コードを取り外す。
- 2. 各種信号ケーブルなどを取り外す。

3. 便利な機能

<u>3-1. 投写光を消灯する(シャッター)</u>

リモコンの SHUTTER CLOSE (区) ボタンを押す。

光源が消灯して、投写光が一時的に消えます。

 ● SHUTTER OPEN (□) ボタンを押すと画面が 投写され、音声が出ます。



3-2. オンスクリーン表示を消去する(オンスクリーンミュート)

1. リモコンの CTL ボタンを押したまま OSD CLOSE (区) ボタンを押す。 オンスクリーンメニューや入力端子などの表示が 出なくなります。

 リモコンの CTL ボタンを押したまま OSD OPEN (□) ボタンを押すと、オンスクリー ン表示が出るようになります。



[参考]

 オンスクリーンミュートが有効になっているかは、MENUボタンを押したときにオン スクリーンメニューが出ないことで確認できます。

3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

 リモコンの CTL ボタンを押したまま VOL/D-ZOOM +ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。

約 1.8 倍まで拡大できます。





リモコンの CTL ボタンを押したまま VOL/D-ZOOM -ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

約80%まで縮小できます。

[注意]

● 信号によっては、1.8 倍まで拡大できない場合があります。

[参考]

● 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。

3-4. 輝度(明るさ)を調整する

本機は、使用目的などに合わせて、4 つのライトモードを選択できます。 また、ライトモードで「輝度一定モード」または「電力一定モード」を選択したときに、 輝度(明るさ)の出力を 1% 刻みで調整します。

r					
	標準	輝度レベルが 100%に固定されます。			
ライトモード		輝度レベルが 50%に固定されます。 輝度とファンを制御することで動作音が小さくな り消費電力も下がります。			
	輝度一定モード	輝度レベルで設定した明るさを一定に保つように 制御します。輝度レベルの調整範囲は、80%から 50%です。			
	電力一定モード	輝度レベルで設定した明るさで投写します。輝度 レベルの調整範囲は、100%から10%です。 輝度レベルに応じて消費電力も下がりますが、本 機の使用時間の経過に応じて明るさは変化します。			
	[注意]				
	● 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になり ません。				
輝度レベル	ライトモードで したときに、輝 <u>月</u> 「標準」または「	「輝度一定モード」および「電力一定モード」を選択 度レベルを調整します。 エコ」を選択したとき、輝度レベルは選択できません。			

「光源設定」画面を表示する

1. リモコンの LIGHT ボタンを押す。



[参考]

●「光源設定」は、オンスクリーンメニューの「システム」→「光源設定」を表示しても できます。(→ 85 ページ)

3-5. 台形歪みを調整する(台形補正)

台形補正機能を使用すると、投写画面の台形歪みを調整できます。ここでは「4 点補正」 の手順について説明します。

本機の台形補正機能の種類について

本機は、以下のような4種類の台形補正機能を持っています。

- 各台形補正機能を組み合わせて調整することはできません。
- 補正した状態は、本機の電源を切ったあとも保持します。補正した状態をもとに戻すに は「リセット」を実行してください。

機能	説明
垂直台形補正	◀ / ▶ボタンを押して、垂直方向の台形歪みを調整します。
水平台形補正	◀ / ▶ボタンを押して、垂直方向の台形歪みを調整します。
4 点補正	投写画面の4つの角について、各々▲▼◀▶ボタンを押して台形歪 みを調整します。
ワーピング	曲面に投写したとき、画面の 15 箇所の点を上下左右に移動することにより湾曲した歪みを調整します。
リセット	調整した状態をもとに戻します。

4 点補正をする

4 点補正をする前に、投写画面がスクリーンの枠からはみ出すように位置を調整してください。



1. リモコンの Geometric. ボタンを押す。 「幾何学補正」メニューが表示されます。

2. ▲ / ▼ボタンを押して「4 点補正」にカー ソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。 投写画面の中央に 4 点補正画面が表示 されます。

 ▲▼◀▶ボタンを押して、調整したい 角に白い●を移動し、ENTER ボタンを 押す。 FOCUS SHIFT ZOOM + UENS D UCH Geometric STATUS TEST HDMIT D HD





- 4. ▲▼◀▶ボタンを押して、角の位置を 調整する。
- 5. 調整し終わったら、ENTER または EXIT ボタンを押す。
- 6. 手順3~5を繰り返して、投写画面が スクリーン内に収まるように調整しま す。
- 7.4 点補正の調整を終える場合は、EXIT ボタンを押す。



台形補正した値を初期値に戻す

台形補正した値を初期値に戻すには、幾何学補正メニューで「リセット」を選択します。

1. リモコンの Geometric. ボタンを押す。 「幾何学補正|メニューが表示されます。

2. ▲ / ▼ボタンを押して「リセット」にカー ソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

確認画面が表示されます。



幾何学補正		
垂直台形補正		20
水平台形補正		20
4 点補正		
ワーピング		オフ
ワーピング調整		
グリッドカラー		禄
リセット		>
■■ 決定	▲▼ 選択	町戻る

3. イ ▶ボタンを押して、「はい」にカー ソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。 台形補正した値が初期値に戻ります。



4-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメ ニューを表示して行います。以降「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して 記載します。

4-1-1. オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するにはプロジェクター本体またはリモコンの MENU ボタンを押します。 また、メニューを消す場合は、EXIT ボタンまたは MENU ボタンを押します。 ここではメニューの見かたや操作方法について説明します。

準備:本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1. MENU ボタンを押す。

- EXIT ボタンまたは MENU ボタンを押すと、メニューが消えます。
- 画面上におけるメニューの表示位置を変更することができます。(メニュー位置 → 78ページ)
- 2. ▼ / ▲ ボタンを押す。
 - ・メインメニューアイコン(映像←→ディスプレイ←→通信←→システム←→情報
 ←→言語)にカーソルが移動します。
 - メインメニューアイコンが変わると、サブメニューも変わります。
- メインメニューアイコンにカーソルがある状態で、▶ または ENTER ボタンを 押す。

サブメニューにカーソルが移動します。

- サブメニューからメインメニューアイコンに戻る場合は、
 ◆または EXIT ボタンを押します。
- MENU ボタンを押すと、メニューが消えます。
- 4. ▼ / ▲ ボタンを押して目的のサブメニューにカーソルを合わせる。

サブメニューの右端に表示されているマークや項目名は、キー操作を表しています。

		2					3		(2)	
		/							/	
1) —		映像					映像			
	L∎ 🕞 🛟 🗄₀ 🏛	カラーモード 明るさ コントラスト 移復 色合い シャープネス ガンマ ホワイトバ(ランス アドバ(シスカラー アドバ(シスイメージ リセット		プレゼンテーショ :	3 ン 50 50 50 50 8 2.2	Le ⊖ ⇔ B, ⊞	カラーモード 明るさ コントラスト 彩度 色合い シャープネス ガンマ ホワイトバランフ アドバンスオラー アドバンスイメー リセット		プレゼンテーション 50 50 50 50 50 50 8 2.2	>
		■■ 決定	▲▼ 選択	EXIT	える		BNTER 決定	▲▼ 選択	DIT R	5

前ページのメニュー画面例の説明

- ① メインメニューアイコン
- ② カーソル
- ③ サブメニュー

サブメニューにカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押すと、下の階層のメニューを 表示します。

4-1-2. 確認メッセージ

調整値をリセットする場合などに確認メッセージが表示されます。

◀ / ▶ボタンを押して、「はい」または「いいえ」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを 押します。



4-1-3. 数字の変更

メニューのネットワーク設定において、工場出荷時の IP アドレスやサブネットマスクな どを変更する場合について説明します。

- 1. MENU ボタンを押してオンスクリーンメニューを表示する。
- 2. ▼ / ▲ボタンで「通信」アイコンにカーソルを合わせ、▶ または ENTER ボタンを押す。

サブメニューにカーソルが移動します。

3. ▼ / ▲ ボタンを押して「ネットワーク設定」にカーソルを合わせ、▶ または ENTER ボタンを押す。

ネットワーク設定メニューが表示されます。



4. ▼ / ▲ ボタンを押して「IP アドレス」にカーソルを合わせ、▶ または ENTER ボタンを押す。

IP アドレス設定画面が表示されます。

ネットワーク設定	
LAN インターフェイス	RJ=45
DHCP	オフ
IP アドレス	192.168.0.100 >
サビネットマスク	255,255,255,0
ゲートウェイ	192.168.0.51
DNS1	0.0.0.0
DNS2	0.0.0.0
適用	
リセット	
ENTER 決定 ▲▼ 選択	EXT 戻る

5. ▼ / ▲ボタンを押して数値を変更し、 ◀ / ▶ボタンを押す。

カーソルが IP アドレスの隣りの入力欄に移動します。



- 6. 手順5を繰り返し、IPアドレスを変更する。
- 7. IP アドレスの変更が終わったら、ENTER ボタンを押す。 ネットワーク設定メニューに戻ります。
- 8. 同様に操作して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」「DNS1/2」を設定する。
- 9. ▼ / ▲ ボタンを押して「適用」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

[注意]

「DHCP」が「オン」になっているときは「IP アドレス」を選択できません。
 その場合は次のように操作して「DHCP」を「オフ」に変更してください。
 ①「DHCP」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。
 ② ▼ / ▲ ボタンを押して「オフ」にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

<u>4-2. オンスクリーンメニュー一覧</u>

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メインメニュー		サブメニュー・設定	。 2值	参照ページ
映像	プレゼンテーション、HDR、HLG、シネマ、 カラーモード SRGB、高輝度、DICOM SIM.、3D、ハイフレーム レート		DR、HLG、シネマ、 A SIM.、3D、ハイフレーム	70
	明るさ	0~50~100		
	コントラスト	0~50~100		
	彩度	0~50~100		
	色合い	$0 \sim 50 \sim 100$		
	シャープネス	1~8~15		
	ガンマ	グラフィック、1.8、2.0 板、DICOM SIM.、HDF	D、2.2、2.4、2.6、3D、黒 R	
		色温度	ウォーム、 スタンダード 、 クール	
	ホワイトバランス	赤ゲイン	0~50~100	71
		緑ゲイン	0~50~100	
		青ゲイン	$0 \sim 50 \sim 100$	
		赤オフセット	$0 \sim 50 \sim 100$	
		緑オフセット	$0 \sim 50 \sim 100$	
		青オフセット	$0 \sim 50 \sim 100$	
		カラースペース	自動、RGB(0-255)、 RGB(16-235)、YUV	
		壁色補正	オフ、黒板、ライトイエ ロー、ライトグリーン、 ライトブルー、ピンク、 グレー	
	アドバンスカラー	色補正	色の濃さ(赤、緑、青、 シアン、マゼンタ、黄、白) 色合い(0~127~254) 彩度(0~146~254) 50~134~254)	72
			リセット	

メインメニュー	サブメニュー・設定値			参照ページ
映像 (つづき)		ダイナミックコントラスト	ダイナミックブラック (オ フ、オン) エクストリームブラック (オフ、オン)	
		ダイナミックレンジ	HDR(オフ、 自動) HDR 輝度	
	アドバンスイメージ	3D 設定	3D モード(オフ、オン) 3D 映像フォーマット(自 動、Frame Packing、 SBS、Top and Bottom、 Frame Sequential) 3D 同期反転(オフ、オン) リセット	74
	リセット			75
ディスプレイ		フォーカス ズーム		
		レンズシフト		
囲	レンズ	レンズメモリー	保存(メモリー1~5) 適用(メモリー1~5) 消去(メモリー1~5)	76
		レンズキャリブレーション		
		レンズのロック	オフ、オン	
		リセット		
	アスペクト比	4:3、16:9、21:9、レタ	ーボックス、 自動	
		デジタルズーム	80~100~180	
	スケール		H 0 ~ 50 ~ 100	77
			V 0 ~ 50 ~ 100	

メインメニュー		サブメニュー・設定	值	参照ページ
		垂直台形補正	$0 \sim 20 \sim 40$	
ディスプレイ		水平台形補正	$0 \sim 20 \sim 40$	
(つづき)		4 点補正	A V ()	
		ワーピング	オフ、オン	77
		ワーピング調整		
		グリッドカラー	緑 、マゼンタ、赤、シア ン	
		リセット		
		メニュー位置	中央 、左上、右上	
	オンスクリーン ディスプレイ	メニュータイマー	オフ、5s、 10s 、20s、 30s、60s	
		情報を表示しない	オフ、オン	
	バックグラウンド	青、黒		
		自動信号判別	オフ、 オン	
	信号	クイック再起動	オフ、 オン	78
		入力信号	HDMI1、HDMI2、 HDBaseT	
		EDID 設定	HDMI 1 EDID (1.4, 2.0)	-
			HDMI 2 EDID (1.4, 2.0)	
			HDBaseT EDID (1.4, 2.0)	
		リセット		
	 オリエンテーション	天吊り	自動、オン、オフ	70
		リア投写	オフ、オン	13
	テストパターン	オフ、緑色グリッド、マ リッド、白、黒、赤、綺 ン、ANSI コントラスト カス	マゼンタ色グリッド、白色グ き、青、黄、マゼンタ、シア 4X4、カラーバー、フォー	80
	リセット			

メインメニュー		サブメニュー・設定		参照ページ
		リモートコード	0~99	
通信		リモートロック	オフ、1~9	
			フロント (オフ、 オン)、	81
D		リモコン受光部設定	トップ(オフ、オン)、	
			HDBasel (オフ、オン)	
	リモート設定	ユーザー 1	カラーモード、AVV ミュート、 色温度、オリエンテーション、 アスペクト比、フリーズ、ネッ トワーク設定、オーディオ ミュート、オンスクリーン ディスプレイ	
		ユーザー2	カラーモード、AV ミュート、 色温度、オリエンテーション、 アスペクト比、フリーズ、ネッ トワーク設定、オーディオ ミュート、オンスクリーン ディスプレイ	
		ユーザー3	カラーモード、AV ミュート、 色温度、オリエンテーション、 アスペクト比、フリーズ、ネッ トワーク設定、オーディオ ミュート、オンスクリーン ディスプレイ	82
		LAN インターフェイス	RJ-45、HDBaseT	
		ネットワーク情報	接続、切断(表示のみ)	
		MAC アドレス	(表示のみ)	
		DHCP	オフ、オン	
		IPアドレス	192.168.0.100	
	ネットワーク設定	サブネットマスク	255.255.255.0	
		ゲートウェイ	192.168.0.51	
		DNS 1	0.0.0.0	
		DNS 2	0.0.0.0	
		適用		
		リセット		
		Crestron	オフ、 オン	
		PJLink	オフ、オン	83
		AMX	オフ、 オン	
		HTTP	オフ、 オン	
	通信速度	9600、19200、38400、	57600、 115200	
	コマンドフォーマット	A, B	-	
	リセット			

メインメニュー		サブメニュー・設定	2值	参照ページ
システム	スタンバイモード	ノーマルスタンバイ 、ネ リープ	ジットワークスタンバイ、ス	
		ダイレクトパワーオン	オフ、オン	84
	康迈 派中	オートパワーオン	オフ、オン	
	电源政化	オートパワーオフ	0~ 20 ~180	
		オフタイマー(分)	0 ~960	
	光源設定	ライトモード	標準、 エコ、輝度一定モー ド、電力一定モード	85
		輝度レベル	10%~100%	
	本体キー照明設定	オフ、 オン		
		セキュリティ	オフ、オン	
			月 (0~35)	96
	セキュリティ	セキュリティタイマー	⊟ (0 ~ 29)	
			時(0~23)	
		パスワード変更		
	12V トリガー	オフ、オン		80
	高地モード	オフ、オン		00
		音量	0~ 5 ~10	
		ミュート	オフ、オン	
	オーディオ設定	オーディオ出力	自動、内蔵スピーカー、 ライン出力	
		リセット		
	っ ぜ ご ク	すべての設定を保存	メモリ−1 、メモリ−2、 メモリ−3、メモリ−4、 メモリ−5	90
		すべての設定を読み込 む	メモリー1 、メモリー2、 メモリー3、メモリー4、 メモリー5	
		OSD 設定のリセット		
		すべてのリセット		
	サービス	注:お客様は使用できま	せん。	

メインメニュー		サブメニュー・設定値	参照ページ
		Model Name	
情報		Serial Number	
		スタンバイモード	
(i)		Total projection Hours	
	システムステータス	Light Source Hours	
		周囲温度	
		システム温度	
		リモートコード	
		Crestron	
	コントロール	PJLink	
		AMX	
		HTTP	
		LAN インターフェイス	
		MAC アドレス	
		ネットワーク情報	
		DHCP	
	通信	IP アドレス	91
		サブネットマスク	
		ゲートウェイ	
		DNS 1	
		DNS 2	
		入力信号	
		解像度	
		信号形式	
	信号	ピクセルクロック	
		水平リフレッシュ	
		垂直リフレッシュ	-
		カラースペース	
		メインバージョン	
		F-MCU Version	
		A-MCU Version	-
		LAN バージョン	
		フォーマッタバージョン	02
		HDBaseT バージョン	32

メインメニュー	サブメニュー・設定値	参照ページ
語	<mark>English</mark> 、Deutsch、Français、Italiano、Español、Svenska、한국어、 Polski、Magyar、Русский、Еλληνικά、Türkçe、Português、 čeština、繁體中文、Norsk、Nederlands、日本語、简体中文、ไทย	92

4-3. 映像

4-3-1. カラーモード

投写した映像に最適な設定を選択します。

プレゼンテーション	PowerPoint などでプレゼンテーションするときに適した設定にします。
HDR	ハイダイナミックレンジ(HDR)コンテンツをデコードして表示しま す。鮮やかな映画のような色を再現します。
HLG	ハイブリッドログガンマ(HLG)コンテンツをデコードして表示しま す。鮮やかな映画のような色を再現します。
シネマ	映画を投写するときに適した設定にします。
sRGB	sRGB に準拠した色が再現されます。
高輝度	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
DICOM SIM.	医療業界で用いられている DICOM 規格に近似した設定にします。
3D	3D 映像を投写するときに適した設定にします。
ハイフレームレート	ハイフレームレート(HFR)コンテンツを投写するときに適した設定 にします。

[注意]

- HDR 信号、HLG 信号、3D 信号、ハイフレームレート信号を入力した場合、自動的 に「HDR」、「HLG」、「3D」、「ハイフレームレート」が選択され、他のモードは選択 できません。
- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM 規格に近似した映像に調整する設定であり正し く投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、 実際の診断には使用しないでください。

[参考]

● 3D 映像を視聴するには、DLP[®] Link に対応したコンテンツと 3D メガネが必要です。

4-3-2. 明るさ、コントラスト、彩度、色合い、シャープネス

コンピューター入力信号について、次の調整を行います。

明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
彩度	色を濃くしたり、淡くします。

色合い	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。

4-3-3. ガンマ

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。 カラーモードの設定に応じて、ガンマの設定が変わります。

グラフィック	コンピューターや写真を投写するときに最適な設定です。
1.8	
2.0	ガンマの値を「1.8/2.0/2.2/2.4/2.6」に設定します。標準的なガンマ
2.2	の値は「2.2」です。
2.4	一般に、値が小さいほど、画像の暗い部分が明るくなります。
2.6	
3D	3D 映像を投写するときに適した設定です。
黒板	黒板に投写するときに適した設定です。
DICOM SIM.	カラーモードで DICOM SIM. を選択したときに適した設定です。
HDR	カラーモードで「HDR」を選択したときに適した設定です。

4-3-4. ホワイトバランス

色温度	色(R, G, B)のバランスを調整して色再現性を最良にします。 「クール」を選択すると青みがかった白になり、「ウォーム」を選択す ると赤みがかった白になります。
赤ゲイン	
緑ゲイン	赤、緑、青の各色について、明るさを調整します。
青ゲイン	
赤オフセット	
緑オフセット	赤、緑、青の各色について、暗さを調整します。
青オフセット	

[注意]

- カラーモードにおいて、3D およびハイフレームレートが選択されている場合、色温 度は使用できません。
- 色差信号(YCbCr など)の映像を表示しているときは、赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲインは使用できません。

4-3-5. アドバンスカラー

カラースペース	投写した映 設定を切り	r像の色がおかしいときに、接続している映像機器に応じて 替えます。
壁色補正	映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メ ニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合い に補正して投写できます。	
色補正	色の濃さ	調整する色(赤 → 緑 → 青 → シアン → 黄 → マゼンタ→ 白 →)を切り替えます。 「白」を選択すると「色合い / 彩度 / 輝度」のメニューは「赤 / 緑 / 青」に変わります。
	色合い	
	彩度	下記の表をご覧ください。
	輝度	
	リセット	色補正の調整値を本機の工場出荷時の状態に戻します。

色補正

赤	色合い	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると黄色よりに変化し、「-」方向へ移動するとマ ゼンタよりに変化します。
	彩度	赤色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くな ります。
	輝度	赤色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗くなり ます。
緑	色合い	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとシアンよりに変化し、「-」方向へ移動すると 黄色よりに変化します。
	彩度	緑色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くな ります。
	輝度	緑色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗くなり ます。
青	色合い	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動するとマゼンタよりに変化し、「-」方向へ移動する とシアンよりに変化します。
--------------------	-----	--
	彩度	青色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くな ります。
	輝度	青色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗くなり ます。
シアン (明るい 青緑)	色合い	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「-」方向へ移動すると緑よ りに変化します。
	彩度	シアンの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くな ります。
	輝度	シアンの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗くなり ます。
黄	色合い	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「-」方向へ移動すると赤よ りに変化します。
	彩度	黄色の強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くな ります。
	輝度	黄色の明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗くなり ます。
マゼンタ (紫)	色合い	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「-」方向へ移動すると青よ りに変化します。
	彩度	マゼンタの強さを調整します。 「+」方向へ移動すると鮮やかになり、「-」方向へ移動すると弱くな ります。
	輝度	マゼンタの明るさを調整します。 「+」方向へ移動すると明るくなり、「-」方向へ移動すると暗くなり ます。
白	赤	「+」方向へ移動すると赤よりに変化し、「−」方向へ移動するとシア ンよりに変化します。
	緑	「+」方向へ移動すると緑よりに変化し、「-」方向へ移動するとマゼ ンタよりに変化します。
	青	「+」方向へ移動すると青よりに変化し、「-」方向へ移動すると黄よりに変化します。

4-3-6. アドバンスイメージ

	ダイナミック	コントラス	ストを設定して、暗いコンテンツのコントラス		
ダイナミック コントラスト	トを最大化します。				
	ダイナミック	ッブラック	入力信号に応じて明るさを自動的に調整 し、最適なコントラストで投写します。		
	エクストリー	-ムブラック	 黒い画像が検出されたときにレーザー光 がオフになり、コントラスト比が自動的 に上がります。 		
	 ● ダイナミックブラックを選択するとエクストリームブラックは選択できません。また、エクストリームブラックを選択するとダイナミックブラックは選択できません。 				
	4K ブルーレイプレーヤーやストリーミングからビデオを表示すると きの HDR(ハイダイナミックレンジ)の効果を再現します。				
ダイナミックレンジ	HDR	オフ:HC 本 自動:HC	PR 処理をオフにします。オフに設定すると、 機は HDR を検出しません。 PR 信号を自動検出します。		
	HDR 輝度	HDR の明	るさを調整します。		
	3Dモード		3D モードのオフ / オンを切り替えます。		
3D 設定	3D 映像フォーマット		3D 映像のフォーマット(記録/伝送方式) を選択します。 3D 放送や3D 媒体に合わせた選択をします。 通常は「自動」を選択します。フォーマッ トの3D 検出信号が判別できないときは、 3D 入力信号のフォーマットを選択してくだ さい。		
	 3D 同期反転		左映像と右映像の表示順を反転します。 「オフ」で 3D 表示に違和感がある場合「オン」 を選択します。		
	リセット		3D 設定の値を工場出荷状態に戻します。		

[注意]

- DLP[®] Link 方式の 3D メガネは、3D 映像信号に含まれる同期信号がスクリーンに反射したところを受光することにより、映像を立体的に視聴できるようにします。 そのため、周囲の明るさ、スクリーンサイズ、視聴距離などの条件によっては、3D 映像が観づらくなることがあります。
- ブルーレイプレーヤーの取扱説明書に記載されている動作条件を確認してください。
- 3D 映像のソフトをコンピューターで再生する場合、コンピューターの CPU やグラ フィックスチップの性能が低いと 3D 映像が観づらくなることがあります。3D 映像 のソフトに添付されている取扱説明書に記載されているコンピューターの動作条件を 確認してください。
- 本機は、HDMI1/HDMI2 端子経由のフレームシーケンシャル (ページフリップ) 3D に対応しています。
- 3D モードを有効にするには、入力フレームレートを 60 Hz に設定する必要があります。これより低いまたは高いフレームレートはサポートしていません。
- 本機の3Dモードは、解像度1920 x 1080を推奨します。4K (3840 x 2160) 解像度は、 3D モードに対応していません。

4-3-7. リセット

映像の設定値を工場出荷状態に戻します。

<u>4-4. ディスプレイ</u>

4-4-1. レンズ

レンズを制御して、投写した映像を調整します。

フォーカス	▲ / ▼ボタンを押して、投写画面のフォーカスを調整します。
ズーム	▲ / ▼ボタンを押して、投写画面の大きさを調整します。
レンズシフト	▲▼◀▶ボタンを押して、投写画面の位置を調整します。
レンズメモリー	レンズシフトの調整値を、レンズメモリー1~5に保存します。必要 なときにレンズメモリー1~5の中から呼び出すと、メモリーに保存 されている調整値で、レンズシフトが調整されます。
レンズキャリブ	レンズキャリブレーションを行うことにより、レンズシフトの調整位
レーション	置を初期状態に戻します。
レンズのロック	レンズのロックを有効にすると、フォーカス、ズーム、レンズシフト、 レンズキャリブレーション、レンズメモリーは使用できなくなります。 レンズのロックが有効になっているときは、画面の右上にアイコンが 表示されます。
リセット	レンズの調整または設定値を工場出荷状態に戻します。

4-4-2. アスペクト比

画面の縦横の比率を選択します。

本機の出荷状態は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。

4:3	4:3のサイズで投写します。
16:9	16:9のサイズで投写します。
21:9	21:9のサイズで投写します。
レターボックス	レターボックスの信号が適切に投写されるように縦方向、横方向を均 等に拡大して投写します。 $\nu_{9-\pi_{3}\nu_{2}\lambda}$ 〇〇〇〇 〇〇〇〇
自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、適切なアスペクト比を選択してください。

[参考]

● コンピューターの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度		アスペクト比
VGA	640 × 480	4:3
SVGA	800×600	4:3
XGA	1024 × 768	4:3
WXGA	1280 × 768	15:9
HD (FWXGA)	1366 × 768	約 16:9
WXGA	1280 × 800	16 : 10
WXGA+	1440×900	16 : 10
HD+(WXGA++)	1600×900	16:9
SXGA	1280 × 1024	5:4
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10
FHD (1080P)	1920 × 1080	16:9
UXGA	1600 × 1200	4:3
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10
4K UHD	3840 × 2160	16:9
4K2K	4096 × 2160	17:9

4-4-3. スケール

デジタルズーム	投写している画面内の画像を80%から180%の範囲で拡大縮小します。
イメージシフト	▼▲◀▶ボタンを押して、投写範囲を移動します。

4-4-4. 幾何学補正

投写している画面の台形歪みを補正します。

垂直台形補正	◀ / ▶ボタンを押して、垂直方向の台形歪みを調整します。
水平台形補正	◀ / ▶ボタンを押して、水平方向の台形歪みを調整します。
4 点補正	投写画面の4つの角について、各々▼▲◀▶ボタンを押して台形歪み を調整します。
ワーピング	ワーピングのオンとオフを切り替えます。
ワーピング調整	曲面に投写したとき、画面の 15 箇所の点を上下左右に移動すること により湾曲した歪みを調整します。
グリッドカラー	ワーピングを使って台形歪みを調整するときの画面に表示される 15 箇所の点の色を変更します。
リセット	幾何学補正した状態を工場出荷状態に戻します。

4-4-5. オンスクリーンディスプレイ

メニュー位置	オンスクリーンメニューの表示位置(中央、左上、右上)を変更します。
メニュータイマー	メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニュー を自動的に閉じるまでの時間(秒)を選択します。 「オフ」を選択すると、メニューを表示し続けます。
情報を表示しない	「オン」を選択すると、画面の角に表示される入力端子などを表示し ません。 本機の工場出荷時は「オフ」(表示する)に設定されています。

4-4-6. バックグラウンド

入力信号がないときの背景色(青、黒)を選択します。

4-4-7. 信号

自動信号判別	オンを選 オフを選 タン、ま	観択すると、入力された信号を自動的に判別して投写します。 観択しているときは、リモコンの HDMI1 ボタン、HDMI2 ボ たは HDBaseT ボタンを押して入力信号を選択してください。	
	または、	下記の「入力信号」で投写する入力端子を選択してください。	
クイック再同期	「オン」を選択すると、入力信号の再同期を早めることができます。		
入力信号	投写する入力端子(HDMI 1、HDMI 2、HDBaseT)を選択します。		
	HDMI 1 バージョ	/2 入力端子および HDBaseT ポートの対応信号モード(EDID コン)を切り替えます。	
EDID 設定	1.4	標準的な映像信号に対応します。	
	2.0	4K の映像信号に対応します。4K の映像に対応している機 器を使用して、4K の映像を表示するときに設定します。	
リセット	信号の設定値を工場出荷状態に戻します。		

4-4-8. オリエンテーション

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

天吊りで「自動」を選択すると、内蔵の角度センサーがプロジェクターの角度を自動的に 検出して、天吊りのオン / オフを切り替えます。



【天吊り】オフ(また	プロジェクターをテーブル上に設置し、スクリーンの正面で投 写する場合。
は自動)	
【リア投写】オフ	
	プロジェクターをテーブル上に設置し、スクリーンの背面で投
【天吊り】オフ(また	チタる物ロ(十匹明のヘノリーノを使用)。
は自動)	
【リア技与】オノ	
	大市り玉具(巾敷)を使用してスクリーノの正面でノロシェク
【天吊り】オン(また	ターを高い位置に設置する場合。
【リア投与】オフ	
【天吊り】オン(また	
は自動)	
,	
 【 ア投写】 オン	a ag ag
1	

4-4-9. テストパターン

プロジェクター設置時の画面の歪み状態の確認、フォーカスの調整、または色合いを調整 する際に表示します。

4-4-10. リセット

ディスプレイの設定値を工場出荷状態に戻します。

<u>4-5. 通信</u>

4-5-1. リモート設定

リモコンに関する設定をします。

リモートコード	複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、 ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作する ことができます。 また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコン で一括操作する場合などに利用します。		
	プロジェクターのリモコン受信を一時的に無効にすることができま す。この機能を「リモートロック」と呼びます。 リモートロックを有効にするときは、「オフ」以外の数字(1~9)を 選択します。そして、リモートロックで選んだ数字を、リモコンの数 字ボタン(1~9)で押します。 プロジェクターのリモートロックが有効になっているときは、画面の 右上にアイコンが表示されます。		
リモートロック		アイコンの中の数字は、リモートロック の番号を表しています。 左のアイコンは「1」の場合です。	
	リモートロックを解除するときは、もう一度リモコンの数字ボタン(1 ~ 9)を押します。		
	【注意】 ●リモートロ HDMI2、	コックで1~3を選んでいる場合、入力切替(HDMI1、 HDBaseT)よりもリモートロックが優先されます。	
	本体前面、上	上面、および HDBaseT のリモコン受光部を設定します。	
リモコン受光部 設定	フロント	前面のみのリモコン受光部を有効にします。	
	トップ	上面のみのリモコン受光部を有効にします。	
	市販の HDBaseT 伝送機器との接続時、伝送機器係 HDBaseT リモコン信号の伝送を設定し、リモコンを使ってオ を操作する場合に選択します。		
	[注意] ●「フロント せん。	ト」と「トップ」を同時に「オン」にすることはできま	



4-5-2. ネットワーク設定

LAN に接続するための設定をします。

LAN インターフェイス	ネットワークと接続する本機のポートを LAN ポート(RJ-45)にするか、HDBaseT ポートにするかを選択します。		
ネットワーク情報	ネットワークに接続しているか、切断しているかを表示します。(表示のみで選択できません。)		
MACアドレス	本機の MAC アドレスを表示します。(表示のみで選択できません。)		
DHCP	オン DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、 ゲートウェイが自動的に割り当てられます。		
	オフ ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブ ネットマスクを手動で設定します。		
IPアドレス	本機の IP アドレスを設定します。 DHCP をオンに設定すると、IP アドレスは自動的に割り振られます。		
サブネットマスク	本機のサブネットマスクを設定します。 DHCPをオンに設定すると、サブネットマスクは自動的に割り振られます。		
ゲートウェイ	本機のゲートウェイを設定します。 DHCP をオンに設定すると、ゲートウェイは自動的に割り振られます。		

DNS 1 / DNS 2	本機の DNS アドレスを設定します。 DHCP をオンに設定すると、DNS アドレスは自動的に割り振られます。
適用	ネットワーク設定の変更を適用します。 設定を変更したときは、必ず「適用」を実行してください。
リセット	ネットワーク設定の内容を工場出荷状態に戻します。

4-5-3. コントロール

本機を制御する機器やサービスを選択します。 本機の工場出荷状態は、Crestron、PJLink、AMX、HTTP がすべて選択させています。

Crestron	Crestron 社製のコントローラーと関連ソフトウェアを使用してプロ ジェクターを制御します。 (ポート: 41794) 詳細については、https://www.crestron.com/ をご覧ください。
PJLink	PJLink Class 2 のコマンドでプロジェクターを制御します。(ポート: 4352) 詳細については、一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 のホームページ https://pjlink.jbmia.or.jp/ をご覧ください。
AMX	AMX 社製の機器を接続してプロジェクターを制御します。 (ポート:9131) 詳細については、http://www.amx.com をご覧ください。
НТТР	プロジェクターとコンピューターをネットワークで接続し、ウェブブ ラウザーを使ってプロジェクターを制御します。(ポート:80) 詳しくは「6. ネットワークに接続する」(→ 98 ページ)をご覧くだ さい。

4-5-4. 通信速度

本機の RS232 端子のデータ転送速度を設定します。接続する機器と転送速度を合わせて ください。

4-5-5. コマンドフォーマット

コンピューターを本機の RS232 端子に接続して本機を制御するときのコマンドのフォーマットを切り替えます。

4-5-6. リセット

通信の設定内容を工場出荷状態に戻します。

<u>4-6. システム</u>

4-6-1. スタンバイモード

本機の電源を切ったあとの状態を設定します。

ノーマル スタンバイ	このモードでは電力消費量は「ネットワーク スタンバイ」または「ス リープ」モードよりも低くなりますが、このモードを選択すると LAN ポートおよび HDBaseT ポートで本機を制御できません。 本機の電源をオンするには、本体背面またはリモコンの電源ボタンを 押してください。
ネットワーク スタンバイ	このモードの電力消費量は「ノーマル」モードよりは高くなりますが、 LAN を介して「Wake on LAN」機能を使用するとスタンバイ状態か ら本機の電源をオンにできます。 「Wake on LAN」機能の詳細については、ネットワーク管理者にお問 い合わせください。
スリープ	このモードの電力消費量は「ネットワークスタンバイ」モードより高 くなりますが、制御用のソフトウェアを使用してプロジェクターの電 源をオンにできます。

4-6-2. 電源設定

電源の入/切に関して設定します。

ダイレクト パワーオン	本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るよう に設定します。 本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。 オフ AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。 オン AC 電源が供給されると自動的に電源が入ります。		
オート パワーオン	 Iオン」に設定すると、本機がスタンバイ状態のとき、HDMI 1 入力、 HDMI 2 入力、または HDBaseT 入力の信号を検知すると自動的に投 写します。 「注意] ● HDBaseT 入力信号は、スタンバイモードが「スリープ」に設定 されているときに有効です。 		
オート パワーオフ	設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、 自動的に本機の電源を切ります。 自動的に電源を切るまでの時間は、1 分から 180 分まで設定できます。 0 分を設定すると、オートパワーオフを実行しません。 本機の工場出荷時は、20 分に設定されています。		

オフタイマー (分)	オフタイマーを設定しておくと、本機の電源の切り忘れ防止になり、
	設定した時間後に本機の電源が切れます(スタンバイ状態になります)。
	自動的に電源を切るまでの時間は、30分から960分まで設定できます。
	0分を設定すると、オフタイマーを実行しません。 本機の工場出荷時は、0分に設定されています。 オフタイマーで設定した時間は、プロジェクターの電源を切っても記
	憶しています。

[参考]

オートパワーオフ、オフタイマー、セキュリティタイマーなどで指定された時間に達する1分前になると、プロジェクターが60秒後にシャットダウンすることを警告するメッセージが画面上に表示されます。

4-6-3. 光源設定

省エネの設定やマルチスクリーン投写時の各プロジェクター間の輝度合わせの調整をします。 輝度レベルを任意に変えたい場合は、「輝度一定モード」または「電力一定モード」を使 用してください。

ライトモード	標準	輝度レベルが 100%に固定されます。
		輝度レベルが 50%に固定されます。 輝度とファンを制御することで動作音が小さくな り消費電力も下がります。
	輝度一定モード	輝度レベルで設定した明るさを一定に保つように 制御します。輝度レベルの調整範囲は、80%から 50%です。
	電力一定モード	輝度レベルで設定した明るさで投写します。輝度 レベルの調整範囲は、100%から10%です。 輝度レベルに応じて消費電力も下がりますが、本 機の使用時間の経過に応じて明るさは変化します。
	 【注意】 ● 輝度一定モードは明るさを一定に保つ機能です。色は一定になりません。 	
輝度レベル	ライトモードで したときに、輝度 「標準」または「	「輝度一定モード」および「電力一定モード」を選択 度レベルを調整します。 エコ」を選択したとき、輝度レベルは選択できません。

4-6-4. 本体キー照明設定

本体の背面にある操作ボタンの文字を光らせるか光らせないかを選択します。

4-6-5. セキュリティ

セキュリティパスワード(4桁の数字)を登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティパスワード入力画 面が表示され、正しいセキュリティパスワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティの設定を変更するときは、任意のセキュリティパスワード(4桁の数字)設定する必要があります。

ここでは、例として「1234」をセキュリティパスワードとして設定する手順を説明します。

セキュリティ	オンとオフを切り替えます。
セキュリティタイマー	次回セキュリティパスワード入力画面を表示するまでの時間(Xか月後+Y日後+Z時間後)を設定します。
パスワード変更	セキュリティパスワードを変更します。

● セキュリティを「オン」にする

- オンスクリーンメニューの「システム」→「セキュリティ」→「セキュリティ」を選択する。
 パスワード入力画面が表示されます。
- 2. ▲ / ▼ ボタンを押して「1」を表示する。





3. ▶ ボタンを押す。

2 桁目に「0」が表示されます。



- 4. ▲ / ▼ ボタンを押して「2」を表示する。
- セキュリティ ・ 2 _ _ _ パスワードを入力してください(4桁)。

5. ▶ ボタンを押す。
 3 桁目に「0」が表示されます。

セキュリティ ★ ★ ♀ _ パスワードを入力してください(4桁)。

セキュリティ

★ ★ <mark>3</mark> ____ ▼ パスワードを入力してください (4桁)。

6. ▲ / ▼ ボタンを押して「3」を表示する。

7. ▶ ボタンを押す。
 4 桁目に「0」が表示されます。

8. ▲ / ▼ ボタンを押して「4」を表示する。





9. ▶ ボタンを押す。

4 桁すべてに「★」が表示されます。



10. ENTER ボタンを押す。

「新しいパスワードを入力し直してください」 とメッセージが表示されます。

11. 手順1~10を参考に、任意の4桁のパスワー ドを入力する。



セキュリティ

12. ENTER ボタンを押す。

「セキュリティコードが変更されました」とメッ セージが表示されたあと、「オフ/オン」を選 択する画面が表示されます。



セキュリティ

オン

オフ

 15. ◀ / ▶ ボタンを押して「オン」を選択し、 ENTER ボタンを押す。

セキュリティが「オン」になります。

[重要]

- セキュリティパスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。
- パスワードの入力を3回間違えると、自動的に本機の電源を切ります。
- パスワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。
- セキュリティパスワードを入力するときに、周囲の人にパスワードを盗み見られて悪用されないように、パスワードの入力に細心の注意を払ってください。 もし盗み見られたと思った場合は、速やかにパスワードを変更してください。

4-6-6.12V トリガー

本機の 12V トリガー端子を有効にするか無効にするかを選択します。

[重要]

● スクリーントリガー端子は、スクリーンコントロール以外の目的では使用しないでく ださい。誤ってリモコンケーブルを接続すると、リモコンが故障します。

[参考]

- ●市販のステレオミニケーブルを使用して、本機のスクリーントリガー端子と、市販の スクリーンコントロール機器を接続します。詳しくは、スクリーン・メーカーにお問 い合わせください。
- 本機のスクリーントリガー端子から出力される制御電圧は次のとおりです。



4-6-7. 高地モード

本機は気圧センサーを内蔵しており、設置する場所の標高に応じて自動的に「高地モード」 が「オン」に切り替わります。高地モードがオンに切り替わると、冷却ファンが高速で回 転します。

なお、標高が 1500 m を超えても高地モードがオンに切り替わらない場合は、手動で「高 地モード」を「オン」に切り替えてください。

[注意]

- 標高約 1500 m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ず高地モードを「オン」に設定してください。「オン」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 高地モードを「オン」に設定しないまま、標高約 1500 m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。 さらに、光源が消灯後内部の温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 高地で使用すると、光学部品(光源など)の交換時期が早まる場合があります。

4-6-8. オーディオ設定

音量	本機の内蔵スピーカーや音声出力端子から出る音量を調整します。
ミュート	ー時的に音声が出ないようにします。 ミュートが有効になっているときは、画面の右上にアイコンが表示さ れます。
オーディオ出力	内蔵スピーカーから音声を出すか、音声出力端子から音声を出すかを 選択します。
リセット	オーディオ設定を工場出荷時の設定に戻します。

4-6-9. ユーザーデータ

本機の設定値や調整値を、5つの内部メモリーに保存し、呼び出すことができます。

4-6-10. リセット

OSD 設定のリセット	オンスクリーンメニューの設定値や調整値を工場出荷時の値に戻
	します。
	ただし、以下の設定値や調整値は変わりません。
	幾何学補正、ネットワーク設定、スタンバイモード、本体キー照
	明設定
オベアのリカット	オンスクリーンメニューのすべての設定値や調整値を工場出荷時
	の値に戻します。

4-6-11. サービス

このメニューはサービスマン専用です。お客様は使用できません。

<u>4-7. 情報</u>

本機の状態や情報を表示します。

プロジェクター	Model Name	
	Serial Number	
システムステータス	スタンバイモード	
	Total projection Hours	
	Light Source Hours	
	周囲温度	
	システム温度	
コントロール	リモートコード	
	Crestron	
	PJLink	
	AMX	
	HTTP	
通信	LAN インターフェイス	
	MAC アドレス	
	ネットワーク情報	
	DHCP	
	IPアドレス	
	サブネットマスク	
	ゲートウェイ	
	DNS 1	
	DNS 2	
信号	入力信号	
	解像度	
	信号形式	
	ピクセルクロック	
	水平リフレッシュ	
	垂直リフレッシュ	
	カラースペース	
FWバージョン	メインバージョン	
	F-MCU Version	
	A-MCU Version	
	LAN バージョン	

フォーマッタバージョン	
HDBaseT バージョン	

<u>4-8. 言語</u>

オンスクリーンメニューで表示する言語を選択します。

	Language			
囲	English		Türkçe Dorturulên	
Î)	Français		Portugues عربي	
\$	Italiano Español		Cestina 繁體中文	
- (j)	Svenska 한국어		Norsk Nederlands	
	Polski Magyar		日本語 简体中文	
	Русский Бааруика		ไทย	
	EAAIJVIKU			
	ENTER Enter	Select	EXIT Return	

5. 機器と接続する

5-1. コンピューターや映像機器と接続する

外部機器との接続例です。

[注意]

 市販の HDMI、LAN、RS-232C、オーディオについてはシールドタイプのケーブルを 使用してください。

下記以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。



信号ケーブルに関する注意事項

HDMI ケーブル(市販)

● プレミアムハイスピード対応の HDMI ケーブルを使用してください。

DVI-HDMI 変換ケーブル(市販)

- コンピューター側が DVI 出力端子の場合は、市販の DVI-HDMI 変換ケーブルを使用して本機の HDMI 1 入力端子または HDMI 2 入力端子に接続します デジタル映像信号のみ入力できます。
- フェライトコア付きのケーブルを使用してください。



[注意]

- コンピューターや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドホン端子と接続する場合、接続する前にコンピューターの音量 を低めに調整してください。そして、コンピューターと本機を接続して使用する際に、 本機の音量とコンピューターの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- コンピューターにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声 ケーブルを接続することをおすすめします。
- スキャンコンバーターなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し 再生時に正常に表示できない場合があります。
- 接続機器によっては、接続している HDMI ケーブルを抜き差ししたときに HDMI 1 入 力端子(または HDMI 2 入力端子)の映像が映らなくなることがあります。そのときは、 HDMI 1 入力端子(または HDMI 2 入力端子)を再度選択してください。

- DVI(デジタル)入力時の注意事項
 - DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠した5 m以内のものを使用 してください。
 - DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピューターの電源が切れた状態で行ってください。
 - DVI(デジタル)信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、 HDMI入力を選択します。最後にコンピューターを起動してください。
 上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピューターを再起動してください。
 - コンピューターのグラフィックカードによっては、アナログ RGB (D-Sub) と DVI (または DFP)の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
 - 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピューターを再起動してください。

5-2. 有線 LAN と接続する

本機を有線 LAN に接続すると、HTTP サーバー機能を利用して、コンピューターでウェ ブブラウザーを使用して本機を制御することができます。

詳しくは「6. ネットワークに接続する」(→ 98 ページ)をご覧ください。

LAN ケーブルは、市販のカテゴリー 5e 以上のシールド付きツイストペア(STP)ケーブルを使用してください。

接続例



5-3. HDBaseT 対応の伝送機器(市販)と接続する

HDBaseTは、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。 市販の LAN ケーブルを使って、本機の HDBaseT ポート(RJ-45)を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。

本機の HDBaseT ポートは、伝送機器からの HDMI 信号(HDCP 対応)、外部機器からの シリアル制御、リモコン信号(IR コマンド)に対応しています。

接続例



[注意]

- LAN ケーブル(市販)は、カテゴリ 6A のシールド付きツイストペア(STP)ケーブ ルを使用してください。
- LAN ケーブルで伝送可能な距離は、最長 100m です。
- HDBaseT の接続では、0.5m などの短い LAN ケーブルは使用できません。
- 本機と伝送装置との間に他の伝送装置を使用しないでください。画質が劣化すること があります。
- 本機は、市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器との接続を保証するものではありません。

6. ネットワークに接続する

6-1. ネットワークに接続してできること

- 有線 LAN で接続中のコンピューターのウェブブラウザーを使って、本機の HTTP サーバーに接続し、本機を制御したりネットワーク設定をすることができます。
- 本機の HTTP サーバーでは、HTTP サーバーのログインパスワード変更、画像調整、 画面調整、ネットワーク設定、Crestron control 設定、PJLink 設定などができます。
- 本機の HTTP サーバーでは、本機の動作について 1 週間(7 日間)のスケジュールを 設定することができます。
- HTTP サーバー画面は英語でのみ表示されます。日本語では表示できません。

<u>6-2. 本機の HTTP サーバーに接続する</u>

準備

- 本機を有線 LAN に接続する場合は、LAN ケーブルを本機に接続してください。(→ 96 ページ)
- 本機に設定するネットワークの情報(IPアドレスなど)は、お客様のネットワーク管理 者にご相談願います。

6-2-1. 本機のネットワーク設定をする

1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを押 す。 オンマクリーンバーマー がまデナわます

オンスクリーンメニューが表示されます。

- ▲ / ▼ボタンを押して「通信」アイコン にカーソルを合わせ、▶または ENTER ボタンを押す。
 「通信」のサブメニューにカーソルが表示されます。
- 3. ▲ / ▼ボタンを押して「ネットワーク 設定」にカーソルを合わせ、▶または ENTER ボタンを押す。 ネットワーク設定メニューが表示されます。





- 4. ネットワークに接続するための設定をする。
 - ネットワーク設定メニューについては、82
 ページをご覧ください。
- 5. 設定が終わったら、ネットワーク設定メ ニューの下から2番目にある「適用」に カーソルを合わせ、▶または ENTER ボ タンを押す。 確認メッセージが表示されます。
- 6. ◀ / ▶ボタンを押して「はい」にカーソ ルを合わせ、ENTER ボタンを押す。

「Please wait Network Settings」とメッセー ジが表示され、しばらくするとメッセージが 消えます。 以上で、本機のネットワーク設定が終わりま した。

ネットワーク設定	
LAN インターフェイス	RJ-45 >
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168.0.100
サビネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.51
DNS1	0.0.0.0
DNS2	0.0.0.0
適用	
リセット	
■■ 決定 ▲▼ 選択	■■ 戻る



- 6-2-2. コンピューターのブラウザーを使って、本機の HTTP サー バー画面を表示する
- 本機とネットワークで接続しているコン ピューターのウェブブラウザーを起動す る。
- ウェブブラウザーの URL 入力欄に 「http:// 本機の IP アドレス」を入力し、 ENTER キーを押す。

【入力例】 http://192.168.0.100

ウェブブラウザーに Login 画面が表示されます。



3. [Username] 欄に「admin」と入力し、 Login ボタンをクリックする。

Create Password(パスワード設定)画面が 表示されます。

- (注)最初に表示される Login 画面の「Password」欄は空欄にしてください。-
- [New Password] 欄に任意のパスワードを入力し、同じパスワードを「Repeat New Password」欄に入力し、Save ボ タンをクリックする。

任意のパスワードが設定され、再び Login 画 面に戻ります。

[注意]

入力したパスワードを他人に見られないよ うに注意してください。

4. 「Username」欄に「admin」と入力し、 「Password」欄に手順3で設定した任 意のパスワードを入力し、Login ボタン をクリックする。

本機の HTTP サーバー画面が表示されます。

0	admin	۴
	Password	0
•	Please enter your username	
	Login	

Create Password

tuq8feg

You must create a new password and you need to login again. Up to 20 or at least 4 with any combination of numeric, English or special character. New Password Mug8feg Repeat New Password

😐 admi	in	
	••••	۲
	Login	

HOME Ø Main	Main	
IMAGE Advanced Image	Power	White Balance Color Temperature
⊠ Other DISPLAY	AV Mute Enable	Red Gain 50
ℱ Signalℱ Geometric Correction	General Remote Code	Green Gain 50 Blue Gain
✓ Other Extended Schedule	0 Color Made Presentation	50
✿\$ Other		Green Offset

HTTP サーバー画面の設定項目は次のとおりです。

トップタブ	サブタブ	メインメニュー	サブメニュー	補足
HOME	Main	Direct Key	Power	
			A/V Mute	
		General	Remote Code	
			Color Mode	
		Scale	Digital Zoom	
			Image Shift Horizontal	
			Image Shift Vertical	
		Geometric Correction	Keystone Horizontal	
			Keystone Vertical	
			4-Corner Top Left Horizontal	
			4-Corner Top Left Vertical	
			4-Corner Top Right Horizontal	
			4-Corner Top Right Vertical	
			4-Corner Bottom Left Horizontal	
			4-Corner Bottom Left Vertical	
			4-Corner Bottom Right Horizontal	
			4-Corner Bottom Right Vertical	
			Grid Color	
		Light Source Settings	Light Mode	
			Brightness Level (%)	
		3D Setup	3D Mode	
			3D Format	
			3D Sync Invert	
		White Balance	Color Temperature	
			Red Gain	
			Green Gain	
			Blue Gain	
			Red Offset	
			Green Offset	
			Blue Offset	
		Advanced Color	Color Correction Red	
			Color Correction Green	
			Color Correction Blue	
			Color Correction Cyan	
			Color Correction Magenta	
			Color Correction Yellow	
			Color Correction White	
			Color Space	
			Wall Color	
		Lens Settiong	Focus	
			Zoom	
			Shift	
			Save Lens Shift Memory	

			Apply Lens Shift Memory	
			Clear Lens Shift Memory	
			Lens Lock	
			Lens Shift Calibration	
IMAGE	Advanced Image	3D Setup	3D Mode	
			3D Format	
			3D Sync Invert	
		Dynamic Bange	HDB	
			HDB Brightness	
		Dynamic Contrast	Dynamic Black	
			Extreme Black	
	Other	General	Color Mode	
		donoral	Brightness	
			Contrast	
			Saturation	
			Sharphoes	
			Gamma	
			Color Tomporatura	
			Wall Calar	
		White Delence	Pad Cain	
		white Balance		
			Green Gain	
			Red Uffset	
			Green Offset	
			Blue Offset	
		Color Correction	Red	
			Green	
			Blue	
			Cyan	
			Magenta	
			Yellow	
			White	
		Reset Image Settings		
DISPLAY	Lens	Lens	Focus	
			Zoom	
			Shift	
		General	Lens Lock	
			Lens Shift Calibration	
		Lens Shift Memory	Save Memory	
			Apply Memory	
			Clear Memory	
		Reset		
	Input Signal Setting	General	Auto Signal	
			Quick Resync	
			Input Signal	
1	1	L		

		HDMI	HDMI 1 EDID	
			HDMI 2 EDID	
			HDBaseT EDID	
	Geometric Correction	General	Grid Color	
		Keystone	Horizontal	
			Vertical	
		4-Corner	Top Left Horizontal	
			Top Left Vertical	
			Top Right Horizontal	
			Top Right Vertical	
			Bottom Left Horizontal	
			Bottom Left Vertical	
			Bottom Right Horizontal	
			Bottom Right Vertical	
		Reset		
	Other	General	Freeze Screen	
			Orientation Ceiling	
			Orientation Rear	
			Aspect Ratio	
			Test Pattern	
		Scale	Digital Zoom	
			Image Shift Horizontal	
			Image Shift Vertical	
		Reset Display Settings		
Extended	Schedule	Schedule View	Schedule Mode	
			View Today	
			Reset Schedule	1
		Monday		1
		Tuesdat		→ 108 ページ
		Wednesday		1
		Thursday		1
		Friday		1
		Saturday		
		Sunday		
	Other	On Screen Display	Menu Position	
			Menu Timer	
			Information Hide	
		Background	Background	
Communication	Network Setup	Ethernet Setting	LAN Interface	
			DHCP	
			IP Address	
			Subnet Mask	
			Gateway	
			DNS 1	
			DNS 2	
		Ethernet Information	MAC Address	
	Email Notification	SMTP Settings	Enable SMTP	

	Trap Configuration	Fan Error	
		Power On/Off	
		Video Loss	
		Laser	
	Reset SMTP		
Control	General	Crestron	
		P.II ink	
		AMX	
		HTTP	
	PJLink	Authentication	
		Change Password	-
		P.II ink Notification	
	Reset		
Crestron Connected V2	General	Interface	
		Secure	
		Cert Verify	
		IP Address	
		Port	
		User Name	
		User Password	
		VC-4 Boom ID	
		Auto Discovery	
	Device Information	Status	
		Status (Xi0 Cloud)	
		MAC Address	
		Serial Number	
	Xi0 Cloud	Beconnect	
Other	Remote Setup	Remote Code	
		Remote Lock	
		Remote Front Sensor	
		Remote Top Sensor	
		Remote HDBaseT Sensor	
		Ilser 1	
		llser 2	
		User 3	
	Baud Bate	Serial Port In	
	Command Format	A or B	
	Reset	Reset Ethernet	
		Reset Communication	
Administrator	Administrator		
		Current Password	
		Now Password	
		Report New Receword	
	1	nepeal new rassword	

System

	Date and Time	Date and Time	Clock Mode	
			Year	1
			Month	
			Dav	-
			Hour	
			Minute	→ 107 ページ
			Second	
			NTP Server	-
				-
			Time Zone	-
			Davlight Saving Time	-
	Ungrade	Firmware Version	Main Firmware	
	opgrado	System Ungrade	New Firmware	
	Other	General	Standby Mode	
	Uner	uenerai	High Altitude	
			12V Trigger	
			Keynad LED Settings	
		Light Course Cottinge	Light Mode	
		Light Source Settings	Pright Mode	
		Audia Cattinga	Brightness Leve (76)	
		Audio Settings		
		Davida O attilization	Audio Output	
	Power Settings	Direct Power Un		
		Auto Power Un		
			Auto Power Off (min.)	
		0	Off Timer (min)	
		Security	Enable	
			Timer	
		Reset	Reset System All Settings	
INFORMATION	Information	Projector	Model Name	
			Serial Number	
		Firmware Version	Main Version	
			F-MCU Version	
			A-MCU Version	
			LAN Version	
			Formatter Version	
			HDBaseT Version	
		Ethernet	LAN Interface	
			MAC Address	
			DHCP	
			IP Address	
			Subnet Mask	
			Gateway	
			DNS 1	
			DNS 2	
		Remote Information	Remote Code	

1	l	Quarteral	Our sture of	
		Control	Crestron	
			PJLink	
			AMX	
			HTTP	
		System Status	Standby Mode	
			Total Projector Hours	
			Light Source Hours	
			Ambient Temp.	
			System Temp.	
		Source Info.	Input Signal	
			Resolution	
			Signal Format	
			Pixel Clock	
			Horz Refresh	
			Vert Refresh	
			Color Space	
Language	Language	Language	Language	

[注意]

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、 各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
 また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その

また続けてホタン操作を行っとフロジェクターが応答しなくなることがあります。その 場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場 合は、本機の電源を入れなおしてください。

- ウェブブラウザーでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl + F5 キーを押してウェブブラウザーの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用 可能な設定をブラウザーに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なり ますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。
- プロキシサーバーについて プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブ ブラウザー操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますが キャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザー から設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサー バーはできるだけ使用しないことを推奨します。

<u>6-3. スケジュール機能を使う</u>

6-3-1. 現在の日付と時刻を設定する

スケジュール機能を使用するには、本機に現在の日付と時刻を設定します。

1. HTTP サーバー画面において「System」→「Date and Time」を選択する。

ate and Time			B Save
Date and Time			
Clock Mode			
Manual			•
Year	Month	Day	
2024	03	21	
Hour	Minute	Second	1
10	52	51	
NTP Server		Update Interval	
time.google.com	Ŧ	Hourly	Ŧ
Time Zone		Daylight Saving Time	
UTC+08:00	~	Enable DST	

2. 現在の日付と時刻を設定する。

下記の Clock Mode の説明をご覧ください。

3. 現在の日付と時刻を設定したら、画面右上の [Save] ボタンをクリックする。

Clock Mode

現在の日付と時刻を手動で設定するか、NTP サーバーを介して自動的に設定するかを選択します。

	日付と時刻を手動で設定ます。		
	Year	年(2000 ~ 2037)を設定します。	
	Month	月(1 ~ 12)を設定します。	
Manual	Day	日(1~31)を設定します。	
	Hour	時(00 ~ 23)を設定します。	
	Minute	分(00 ~ 59)を設定します。	
	Second	秒(00 ~ 59)を設定します。	

	ネットワーク上の NTP サーバー(インターネット時刻サーバー)と 同期して、正しい時刻を取得することができます。		
Use NTP Server	NTP Server	以下の NTP サーバーから選択します。 1. time.google.com 2. asia.pool.ntp.org 3. europe.pool.ntp.org 4. north-america.pool.ntp.org	
	Update Interval	NTP サーバーの更新間隔を選択します。 1日おき、または1時間おきを選択できます。	
	Time Zone	本機を使用する地域とUTC (Universal Time, Coordinated)(協定世界時)との時差を設定 します。 ・初期値:+00:00 ・日本国内で使用する場合は「+09:00」と設定 してください。	
	Daylight Saving Time	夏時間を有効または無効にできます。この項目 を有効にすると、タイムゾーンに応じて時間を 自動的に調整します。	

6-3-2. スケジュールを登録する

1週間の各曜日ごとに、プロジェクターのイベント(動作)を登録することができます。

1. HTTP サーバー画面において「Extended」→「Schedule」を選択する。

chedule		🗄 Save
Schedule View		
Schedule Mode		
View Today Thursday		
Reset Schedule		
	🕄 Reset	
Monday	Tuesday	Wednesday
Schedule Enable	Schedule Enable	Schedule Enable
01: N/A	01: N/A	01: N/A
02: N/A	02: N/A	02: N/A
	108	
2. イベントを設定する。

下記の Schedule View 以降の説明をご覧ください。

3. イベントを設定したら、画面右上の [Save] ボタンをクリックする。

Schedule View

Schedule Mode	登録したスケジュールの有効/無効を選択します。
View Today	現在の曜日を表示します。
Reset Schedule	登録しているスケジュールをすべて初期化します。

Monday - Sunday

1週間の各曜日のイベントの一覧を表示します。

	Mond	lay		
	\bigcirc	Sched	ule Enable	
	01	:	N/A	
	02	:	N/A	
			N/A	
1	15	:	N/A	
	16	;	N/A	
	Copy I	Events To		
		(Ľ) Co	ру	
		₿ Res	et	

Schedule Enable

その曜日に設定されているスケジュールの有効/無効を選択します。

Event 01 - 16

1 日あたり 16 件のイベントを設定できます。クリックすると、**Create Schedule** 画面を 表示します。設定内容については、次ページをご覧ください。 設定が終わったら、[Apply] ボタンをクリックします。

Hour		Minute	
00	•	00	•
Function			
Power Settings			•
Event			
Power On			•

Create Schedule

その日の新しいイベントを作成します。

Hour	時刻(0~23)を選択します。
Minute	分(0~59)を選択します。
	機能を以下から選択します。
Function	Power Settings (電源設定の選択) / Input Source (入力端子の選択) /
	Light Mode(ライトモードの選択)/ AV Mute(AV ミュートの有効/無効)
Event	Function で選んだ機能に応じて選択肢が変わります。 下記の説明をご覧ください。

1. Power Settings のとき

Power On	プロジェクターの電源をオンにします。
Standby (Normal Standby)	プロジェクターの電源を切ってスタンバイ状態(ノーマ ルスタンバイ)にします。
Standby (Network Standby)	プロジェクターの電源を切ってスタンバイ状態(ネット ワークスタンバイ)にします。
Standby (Sleep)	プロジェクターの電源を切ってスタンバイ状態(スリー プ)にします。

2. Input Source のとき

HDMI 1	プロジェクターの HDMI 1 入力端子に切り替えます。
HDMI 2	プロジェクターの HDMI 2 入力端子に切り替えます。
HDBaseT	プロジェクターの HDBaseT ポートに切り替えます。

3. Light Mode のとき

Normal	ライトモードを「標準」に切り替えます。
Eco.	ライトモードを「エコ」に切り替えます。
Constant Brightness	ライトモードを「輝度一定モード」に切り替えます。
Light Power Adjustment	ライトモードを「電力一定モード」に切り替えます。

4. AV Mute のとき

A/V Mute On	プロジェクターの映像と音声を一時的に消します。		
A/V Mute Off	プロジェクターの AV ミュートを解除し、映像と音声を再開します。		

Copy Events To

その日1日のスケジュールを他の曜日にコピーします。

'	Copy Events To Day			
	Current Day Monday			
	Сору То			
	Sunday	•		
		No Apply		
L				

Current Day	現在の曜日を表示します。
Сору То	その日のスケジュールをほかの曜日にコピーします。

Reset

その日のスケジュールを初期化します。

7. 本体のお手入れ

7-1. レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で(市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペー パーを使って)クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意くだ さい。



7-2. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
 汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口やスピーカー部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを 使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダ プターを使用することは避けてください。





通風口のほこりを吸い取ります。

- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因と なりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

[注意]

 ● キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしない でください。
 また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、

塗料がはげるなどの原因となります。

8. 付録

8-1. 投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意 すればいいのか、また、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りた いときの目安にしてください。対応する機種名の投写距離をご覧ください。

フォーカス(焦点)の合う投写距離は、レンズ前面から 1.64 m(60 型の場合)~ 13.35 m(300 型の場合)です。この範囲で設置してください。

次ページの図の見かた

図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。

上図より 200 型スクリーンにワイドで投写するときに、5.6 m 付近に設置することになります。

また、その下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端と下端を表しており、200型スクリーンに投写するときレンズシフトを行うことで、約+1.37 mの範囲で 投写できます。

プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安に お使いください。投写画面はレンズシフトにより上下左右に移動できます。(→ 46ページ)



スクリーンのサイズおよび寸法表



スクリーンサイズ(16:9)			フクリーンの宣さ (om)	
(型)	(cm)		スノダ ノの同で (UII)	
60	152	132.8	74.7	
70	178	155.0	87.2	
80	203	177.1	99.6	
90	229	199.2	112.1	
100	254	221.4	124.5	
120	305	265.7	149.4	
150	381	332.1	186.8	
180	457	398.5	224.1	
200	508	442.8	249.1	
250	635	553.5	311.3	
300	762	664.1	373.6	

デスクトップに設置する場合の例

以下の図は、プロジェクターをデスクトップで使用する場合の例を示しています。 水平投写位置:レンズの中心から左右均等

垂直投写位置:下表を参照



[参考]

● レンズの中心からスクリーン下端までの高さ(チルトフットを縮めた状態)

スクリーンサイズ	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
(型)	ワイド時	テレ時	$-55\%V \sim +55\%V$
60	1.64	2.66	$-78.4 \sim +3.7$
70	1.92	3.11	$-91.6 \sim +4.4$
80	2.21	3.55	-104.6 ~ +5.0
90	2.49	4.00	-117.7 ~ +5.6
100	2.77	4.45	-130.7 ~ +6.2
120	3.33	5.34	-156.9 ~ +7.5
150	4.18	6.68	-196.1 ~ +9.3
180	5.02	8.02	-235.3 ~ +11.2
200	5.59	8.91	-261.6 ~ +12.5
250	7.00	11.14	-326.9 ~ +15.6
300	8.40	13.38	-392.3 ~ +18.7

レンズシフト範囲

本機には、リモコンまたは本体背面の操作ボタンを使って画面位置を調整する電動レンズ シフト機能(→ 46 ページ)があります。 次の範囲内のレンズシフトができます。

レンズシフト範囲

垂直方向	水平方向
± 55%	± 25%

[注意]

● レンズシフトの移動量が下図の範囲を超えている場合、画面の端がぼやけたり、影が出たりすることがあります。

記号の意味:

V は垂直(投写画面の高さ)、H は水平(投写画面の幅)を表し、レンズシフト範囲を高 さおよび幅の比率で表しています。



計算例:150型で投写している場合

「スクリーンサイズと寸法表」(→ 116 ページ)のスクリーン表により H=332.1 cm、 V=186.8 cm になります。

垂直方向の調整範囲:上方向 0.55 × 186.8 cm ≒ 103 cm、下方向も同様に約 103 cm 投写画面を移動することができます。

水平方向の調整範囲:左方向 0.25 × 332.1 cm ≒ 83 cm、右方向も同様に約 83 cm 投 写画面を移動することができます。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

8-2. 対応解像度一覧

信号名	解像度	アスペクト比	垂直走査周波数(Hz)
VGA	640 x 480	4:3	60
SVGA	800 x 600	4:3	60
XGA	1024 x 768	4:3	60
WXGA	1280 x 768	15:9	60 (EDID 1.4 のみ対応)
WXGA	1280 x 800	16:10	60
SXGA	1280 x 960	4:3	60
SXGA	1280 x 1024	5:4	60
FWXGA	1360 x 768	16:9	60 (EDID 1.4 のみ対応)
FWXGA	1366 x 768	16:9	60 (EDID 1.4 のみ対応)
WXGA+	1440 x 900	16:10	60
HD+	1600 x 900	16:9	60
UXGA	1600 x 1200	4:3	60
WSXGA+	1680 x 1050	16:10	60
WUXGA	1920 x 1200	16:10	60 (Reduce Blanking)
UWFHD	2560 x 1080	21:9	24/25/30/50/60 (EDID 2.0 のみ対応)
480p	720 x 480	4:3	60
576p	720 x 576	5:4	50
720p	1280 x 720	16:9	50/60/120
1080p	1920 x 1080	16:9	24/25/30/50/60/120/240 (240 Hz は EDID 2.0 のみ対応)
2160p	3840 x 2160	16:9	24/25/30/50/60 (EDID 1.4 は 30 Hz までの信号に対応)
4K2K	4096 x 2160	17:9	24/25/30/50/60 (EDID 1.4 は 24 Hz までの信号に対応)

3D 信号

信号名	解像度	アスペクト比	垂直走査周波数(Hz)	3D フォーマット
720p	1280 x 720	16:9	50/60	Top and Bottom
1080p	1920 x 1080	16:9	24/60	Top and Bottom
1080p	1920 x 1080	16:9	24/50/60	Side by Side (Half)
720p	1280 x 720	16:9	50/60	Frame packing
1080p	1920 x 1080	16:9	24	Frame packing
XGA	1024 x 768	4:3	120	Frame Sequential
720p	1280 x 720	16:9	120	Frame Sequential
1080p	1920 x 1080	16:9	60/120	Frame Sequential
WUXGA	1920 X 1200	16:10	60	Frame Sequential

8-3. 仕様

形名	, 1		NP-P728QLJD NP-P608QLJD		
方式	2 J		1 チップ DLP 方式		
表示解像度 4K UHD (3840 × 2160 ドット)					
サイズ		サイズ	0.65 型(16.51 mm)、アスペクト比 16:9		
`		画素数 ^(*1)	2,073,600 画素(1920 × 1080 ドット)		
要	投写レンズ		F=2.0~2.4 / f=118.72~29.59mm		
日間		ズーム	電動(ズーム比 1.6 倍)		
仕		フォーカス	電動		
様		レンズシフト	電動(水平±25%、垂直±55%)		
	光源		レーザーダイオード		
明る	さ(*2)(*3)		7200 lm	6000 lm	
画面	サイズ (投	写距離)	60~300型(1.64~13.35 m)		
色再	現性		10 ビット カラープロセッシング(約	10億7000万色)	
	国油粉	水平	$15\sim140~\mathrm{kHz}$		
	山山水女	垂直	24Hz ~ 120Hz, 240Hz		
HDMI 映像入力		映像入力	HDMI [®] タイプA×2 (DeepColor、LipSync) HDCP 対応 ^(*4)		
		音声入力	HDMI [®] (LPCM サンプリング周波	改 32/44.1/48 KHz)	
	в	映像入力	RJ-45 × 1、100BASE-TX、Dee HDCP(*4)	p Color、LipSync 、	
入出	nDbaset	音声入力	サンプリング周波数 32/44.1/48k サンプリングビット 16/20/24bit	Hz	
力	AUDIO OL	IT	ステレオミニジャック× 1		
子	RS232		D-Sub 9 ピン× 1		
	LAN		RJ-45 \times 1、100BASE-TX		
	USB		USB タイプ A × 1、電源供給 5.0 V / 1.5 A		
	SERVICE		USB タイプ B×1 (サービスマン専用)		
REMOTE IN		N	ステレオミニジャック× 1		
12 V OUT			ステレオミニジャック× 1		
スピーカー			10 W × 2 スピーカー内蔵		
		動作温度	$0 \sim 45 °C (*5)$		
 (估开	晋语	動作湿度	10 ~ 85 %(ただし、結露しない	こと)	
	1-农-亿	保存温度	- 10 ~ 60 ℃		
		保存湿度	20~90%(ただし、結露しない	こと)	

使用環境	動作高度	0 ~ 3000 m (1500 ~ 3000 m は、内蔵している気圧センサーによって、自動的 に「高地モード」が「オン」に切り替わります。)		
電源		AC 100V 50/60Hz		
光弗雨十	動作時	530 W		
消貨電力	スタンバイ時	0.5 W		
定格入力電流		6.5 A		
시 자	突起部含む	486(幅)× 186(高)× 432.5(奥行)mm		
	突起部含まず	486(幅)× 176.5(高)× 432.5(奥行)mm		
質量		14.7 kg		

(*1):有効画素数は 99.99%です。

- (*2): JIS X6911:2021 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測 定条件については、附属書 B に基づいています。
- (*3):カラーモードが「高輝度」、ライトモードが「標準」のときの明るさです。 他のモードを選択すると明るさが多少低下します。
- (*4): HDCP/HDCP 技術とは?

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection"の略称で、HDMI を経由して送信 されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいい ます。

HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機の HDMI 1/2 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコン テンツを投写することができます。

- ただし、HDCPの規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、 HDMI 1/2 入力端子の映像が表示されないことがあります。
 - 映像: DeepColor (ディープカラー: 色深度): 8/10/12 ビット、Lip Sync
 - 音声:LPCM; チャンネル数; 2ch、サンプリング周波数: 32/44.1/48KHz、

サンプリングビット:16/20/24 ビット

- バージョン:HDCP 2.2 に対応
- (*5):以下の動作高度における温度範囲を超えると自動的に光出力が低下します。さらに温度が上が ると自動的に電源が切れることがあります。

動作高度	動作温度範囲
0 ~ 762 m	0∼45 °C
762 ~ 1524 m	0 ~ 35 ℃
1524 ~ 3000 m	0~30 °C

この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

<u>8-4. 外観図</u>

単位:mm



8-5. インジケーター表示一覧

本体操作部の3つのインジケーターが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



通常のインジケーター表示

電源	ステータス	温度	本機の状態
(消灯)	(消灯)	(消灯)	電源がオフ状態
オ レンジ色 (点灯)	(消灯)	(消灯)	スタンバイ状態
米 緑色 (点灯)	(消灯)	(消灯)	電源オン状態
赤色(点滅)	(消灯)	(消灯)	ウォーミングアップ
緑色 (短い点滅)	(消灯)	(消灯)	本体の冷却中
米 緑色 (点灯)	赤色 (点滅)	(消灯)	AV ミュート

異常時のインジケーター表示

電源	ステータス	温度	本機の状態
(その他の状態)	(その他の状態)	*** 赤色 (短い点滅)	光源の出力を下げています。電源を入れ直してく ださい。
(その他の状態)	(その他の状態)	米 赤色 (点灯)	温度エラーを検出しました。吸気口および排気口 がふさがれていないか確認してください。電源を 切り、しばらく待って本体内部の温度が下がって から電源を入れ直してください。
★ 赤色 (点灯)	(その他の状態)	米 赤色 (点灯)	
(その他の状態)	(その他の状態)	*** 赤色 (長い点滅)	ハードウェアの異常です。NEC プロジェクター・ カスタマサポートセンターへ修理を依頼してくだ さい。
(その他の状態)	(その他の状態)	赤色(点滅)	

8-6. 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。 それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合 わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	40
	主電源スイッチが 🔾 (切)になっていませんか。	27
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異 常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく 待ってから電源を入れてください。	_
	標高約 1500 m以上の高地で本機を使用していませんか。 本機は気圧センサーを内蔵しており、設置する場所 の標高に応じて自動的に「高地モード」が「オン」 に切り替わります。高地モードがオンに切り替わる と、冷却ファンが高速で回転します。 なお、標高が 1500 m を超えても高地モードがオン に切り替わらない場合は、手動で「高地モード」を「オ ン」に切り替えてください。高地で本機を使用する 場合に高地モードで「オン」を選択していないと、 温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れるこ とがあります。さらに、光源が消灯後光源の温度が 上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が 入らないことがあります。その場合は、しばらく待っ てから電源を入れてください。	89
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇など が原因として考えられない場合は、電源プラグをコ ンセントから抜いてください。そして約5分間待っ て再び電源プラグをコンセントに接続してくださ い。	_
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューの「システム」→「電源設定」 →「オートパワーオフ」する時間を設定していませ んか。	84
	本機は標高約 3000m まで使用可能ですが、それを 超えた場合は、本機を保護するために自動的に電源 が切れます。	122

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体またはリ モコンの入力切替ボタンを押して一度他の入力に切 り替えたあと、再度入力切替ボタンを押して投写す る入力を選択してください。	44
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	93
	リモコンの SHUTTER ボタンが押されていません か。	54
	リモコンの USER1(AV ミュート)ボタンが押され ていませんか。	82
	コンピューター信号の場合、入力信号が対応してい る解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	119
	オンスクリーンメニューの「ディスプレイ」→「信号」 の設定を確認してください。	78
	コンピューターの画面がうまく投写できない場合 は、129 ページをご覧ください。	_
	HDMI 1/2 入力端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。 お使いのコンピューターに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。 再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピューター、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバーや最新 OS のインストールは、 お客様の責任において行っていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	_
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	_
	それでも解決しない場合は、オンスクリーンメ ニューの「システム」→「リセット」→「すべての リセット」を実行してみてください。	90
	標高約 1500m 未満であっても高地で使用している 場合、温度プロテクターが働いて、自動的に消灯す ることがあります。そのときは高地モードを「オン」 に設定してください。	89

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が歪む	正しく設置されていますか。	45
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	57
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	48
	投写画面と本機が正しい角度で設置されています か。	114
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	117
映像がぼやける	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていません か。	118
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入 れるとレンズや内部の光学部が結露することがあり ます。このような場合は結露がなくなるまで数分お 待ちください。	_
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	_
映像が突然暗くなった	吸気口の周囲を障害物などで塞いでいると、内部温 度が高くなり、光出力が低下することがあります。	26, 27
	室温が高いため、強制エコモードになっていません か。	_
	以下の動作高度における温度範囲を超えると自動的 に光出力が低下します。さらに温度が上がると自動 的に電源が切れることがあります。 <u>動作高度 動作温度範囲</u> <u>0~762 m 0~45 ℃</u> 762~1524 m 0~35 ℃ 1524~3000 m 0~30 ℃	122
水平または垂直方向に 映像がずれて正常に表 示されない	コンピューター信号の場合、入力信号が対応してい る解像度、周波数になっていますか。 コンピューターの解像度を確認してください。	119
HDMI 入力信号が正常 に投写されない	HDMI 信号レベルを正常に判別できていない可能性 があります。オンスクリーンメニューの「映像」→「ア ドバンスカラー」→「カラースペース」の設定を切 り替えてみてください。	72

このようなとき	確認してください	参照ページ
リモコンで操作できな い	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部 に向けていますか。	36
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池 と交換してください。	35
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物が ありませんか。	36
	リモコンの有効範囲(6m)を超えていませんか。	36
インジケーターが点滅 する	インジケーター表示一覧をご覧ください。	124
本機の動作が不安定に なる	電源プラグをコンセントから抜いてください。その 後約5分間待って再び電源プラグをコンセントに接 続してください。	

コンピューターの画面がうまく投写できない場合

コンピューターを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認く ださい。

●コンピューターの起動のタイミング

コンピューターと本機をコンピューターケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピューターを起動してください。 特にノートブックコンピューターの場合、接続してからコンピューターを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

●コンピューターの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピューターの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります(ノートブックコンピューター自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません)。

[参考]

Windowsのノートブックコンピューターの場合は、キーと12個のファンクションキーのいずれかとの組み合わせで、外部出力の有効/無効を切り替えます。

【コンピューターメーカーとキー操作の例】

Fn + F3	NEC
Fn + F8	DELL

※詳しい操作は、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

● Apple の MacBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

●ノートブックコンピューターの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピューターの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写され た画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピューターの制限(コンピューター自身の液晶画面と外部 出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない)によることが考え られます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れてい る場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピューターの同時表示をやめ、外部出力のみのモードに する(液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い)操作を行うと、外部出力信号 が標準規格に合った信号になることがあります。

● Mac を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Mac 用信号アダプター(市販)を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Mac および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Mac を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

● MacBook と本機を同時に表示させる場合

MacBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を本機の表示 解像度に設定できないことがあります。

● Mac の投写画面からフォルダーなどが切れている場合

Mac に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写 した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすること があります。このような場合は、Mac の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」 →「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動 します。

<u>8-7. トラブルチェックシート</u>

発生頻度 常時 時々(回中	回) 2その他()
 電源が入らない (電源インジケーターが緑色に点灯しない)。 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。 ① ① ボタンを押しても電源が入らない。 	使用中、電源が切れる。 電源ブラグはコンセントにしっかり挿入されている。 オフタイマー(分)は「O(オフ)」に設定されている。
映像・音声関係 ・・・・・	
 コンピューターの画面が投写されない。 コンピューターと本機を接続したあとにコンピューター を起動してもなおらない。 ノートブックコンピューターにおいて外部出力信号が 出力されている。 	映像が歪む。 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。 母形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。 映像が切れる。 「リセット」を実行してもなおらない。
Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーの いすれかを押すと外部出力信号が出力されます (コン ビューターによって異なります) 。	 → 水平または垂直方向に映像がずれる。 → コンピューター映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
────────────────────────────────────	────────────────────────────────────
 人力端子にケーブルか、しっかり挿入されている。 画面に何かメッセージが出ている。 () 接続している入力を選択している。 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 入力は対応している解像度・周波数の信号である。 	 映像がちらつく。 「初期設定」を実行してもなおらない。 コンピューター映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。 高地モードを「オン」から「オフ」にしてもなおらない。
映像が暗い。 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。	 映像がぼやける・フォーカスが合わない。 音声が出ない。 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。 音量を調整してもなおらない。
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 本体操作パネルのボタンが利かない。 キーロック設定のある機種において キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定 されている。

症状を具体的に記入してください。



保証と修理サービス(必ずお読みください)

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。(ただし、定期交換部品、消耗品、添付品は除く)

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター(→ 裏表紙)にお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(→ 126 ページ)に従って調べていただき、あわせて「トラブ ルチェックシート」(→ 131 ページ,132 ページ)で現象を確認してください。その上で なお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・ カスタマサポートセンターにご連絡ください。

● 修理形態

保証書をご覧ください。

● 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示くだ さい。

保証書の規定に従って NEC プロジェク ター・カスタマサポートセンターが修理 させていただきます。

● 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望 により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	NEC プロジェクター
型名	NP-P728QLJD NP-P608QLJD
お買い上げ日	年月日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	法人名、ご担当社名
電話番号	

お買い上げ店名	
および電話番号	



シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社